

KXM-P509W

AV Navigation System

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



目次

はじめに

安全上のご注意.....	6
使用上のご注意.....	10
簡単機能ガイド.....	12
ナビゲーション機能.....	12
ドライブに役立つ交通情報.....	12
音楽などを楽しむ.....	13
情報確認や各種設定の変更.....	13
本書の読みかた.....	14
本書の構成.....	14
本書の表記.....	15

基本操作

各部の名称とはたらき.....	16
本機のフロントパネルについて.....	17
基本操作.....	18
電源を入れる / 切る.....	18
電源オン.....	18
電源オフ.....	18
タッチパネルの基本操作.....	18
フロントパネルの角度を調整する.....	18
視野角を調整する.....	19
本機の画面 / リストの操作.....	19
ホーム画面での操作.....	20
マイメニューを使う.....	21
マイメニューを表示する.....	21
ショートカットボタンを割り当てる.....	21
特別メモリ地点の編集をする.....	22
車両メンテナンスを設定する.....	22
サブメニューを使う.....	23
サブメニューを表示する.....	23
アンテナを伸ばす / アンテナをしまう.....	23
画面表示を消す.....	23
画面の明るさ.....	23
ユーザーを切り替える.....	24
システム設定から切り替える.....	24
ユーザー名を編集する.....	24

文字入力のかた.....	25
入力形式を切り替える.....	25
文字の種類を切り替える.....	25
キーボード形式で文字を入力する.....	25
テンキー形式で文字を入力する.....	26

ナビゲーション

地図の見かたと操作.....	27
現在地図画面の見かた.....	27
ゾーン 30 エリアの表示について.....	28
ランドマークの情報を見る.....	28
地図の縮尺を変える.....	29
市街地図について.....	29
地図の表示方法を切り替える.....	30
3D 地図の傾き角度を変更する.....	30
地図を 2 画面表示にする.....	31
情報表示切替エリアの表示項目.....	32
地図をスクロールする.....	34
スクロールしたときの地図表示.....	34
マップクリップを利用する.....	35
ショートカットボタンを使う.....	36
周辺検索をする.....	37
ナビゲーションの流れ.....	38
自宅を登録する / 自宅に帰る.....	39
自宅を登録する.....	39
自宅を変更する.....	40
自宅へ帰る.....	40
行き先を探す.....	41
検索画面での営業時間外表示について.....	41
名称から探す.....	41
エリアを指定して検索する.....	42
ジャンルで絞り込む.....	43
ジャンルから探す.....	44
登録地点から探す.....	45
住所から探す.....	45
履歴から探す.....	46
履歴を削除する.....	46
電話番号・マップコード・郵便番号で探す.....	46

NaviCon で探す	47
本機とスマートフォンを接続する	47
NaviCon からナビの地図表示を操作する	48
目的地を設定する	48
NaviCon 友達マップ機能を使う	48
提携駐車場を行き先に設定する	50
ルートの探索と案内	50
ルートの探索と案内を開始する	50
目的地に設定してルートを探索する	50
ルートの探索条件を選択して案内を開始する	51
VICS によるルート探索	52
複数の到着地点情報があったとき	52
ルート案内画面について	53
一般道路でのルート案内	53
高速道路でのルート案内	54
案内ポイントでの割り込み表示	55
ここで案内表示	55
交差点案内図の表示	55
高速道分岐イラストの表示	55
ETC レーン表示	56
案内先読みガイド表示	56
音声案内について	57
逆走注意喚起について	58
逆走検知について	59
ルートを再探索する	59
ルートを編集する	60
経由地を追加する	60
目的地・経由地の順番を入れ替える	60
目的地・経由地を削除する	61
利用するインターチェンジを変更する	61
変更したインターチェンジを元に戻す	62
走行中のルートを表示する	62
ルート全体を表示する	62
目的地を表示する	63
ルート案内を終了する	63
ルートから外れたときは	63
地点を登録する	64
地点を登録する	64
登録した地点をリストで見る	64
登録地点を編集する	65
グループを編集する	66
登録地点を削除する	66

オーディオ・ビジュアル

AV の基本操作	67
ソースを切り替える	67
ソースをオフ (STANDBY) にする	67
現在地図画面から AV 画面を表示する	67
パッシンジャースリープ機能を使う	68
iPhone の曲を再生する	68
iPhone を取り外す	68
画面の見かたと操作	68
USB 機器 /SD カードのファイルを再生する	70
USB 機器を接続する	70
USB 機器を取り外す	70
SD カードを入れる / 出す	70
画面の見かたと操作	71
オーディオファイルの AV 画面	71
再生リストと再生モードについて	72
カテゴリデータベースから曲を再生する	73
カテゴリデータベースを作成する	73
カテゴリモードで再生する	73
AM または FM を聴く	74
画面の見かたと操作	74
プリセットモードを切り替える	74
エリアモードの放送局をリストから選局する	74
放送局を登録 (プリセット) する	75
交通情報を受信する	75
画面の見かたと操作	75
「SMART USEN」を使う	76
準備する	76
本機とスマートフォンを接続する	76
画面の見かたと操作	76
チャンネルを選ぶ	77
チャンネル名を検索する	77
再生中のチャンネルをお気に入りに登録する	77
お気に入りのチャンネルを選ぶ	78
情報・設定	
情報・設定画面について	79
VICS 情報を見る	79
VICS 情報とは	79

VICS 情報の内容と種類.....	79	設定を SD カードに保存する	99
VICS 情報の提供方法.....	79	設定データを本機に読み込む	100
VICS 情報利用上のご注意.....	79	ゴールオートボリュームを設定する	100
地図に表示される VICS 情報	80	暗証番号を設定する	100
地図表示型（レベル 3）情報の表示	80	暗証番号を変更する	101
地図上の VICS 情報を見る	81	暗証番号を解除する	101
ETC2.0 割り込み表示	81	外部機器の設定をする	101
VICS 文字 / 図形情報を見る	82	接続状態を確認する	102
FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示	82	バージョンを確認する	103
ETC2.0 割り込み情報	82	地図更新について	104
VICS 局の選局方法を切り替える	82	開通した道路情報の更新について	104
自動選局に設定する	82		
手動選局に設定する	83		
VICS 情報の表示設定をする	83		
地図上の VICS 表示方法を設定する	84		
ECO 情報を確認する	85		
ECO 情報を見る	85		
詳細情報を見る	85		
ECO レシオについて	85		
ナビゲーションの設定をする	86		
地図表示を設定する	89		
自車の現在位置を修正する	89		
走行軌跡表示を設定する	90		
走行軌跡を消去する	90		
地図に表示するランドマークを設定する	90		
ルート探索の条件を設定する （マイルルートアシスタント）	91		
サウンドの設定をする	92		
車両タイプを設定する	92		
スピーカー構成を設定する	93		
リスニングを設定する	94		
リスニングポジションを微調整する	94		
フロントフォーカスの微調整をする	95		
設定した値を初期設定に戻す	95		
プリセットイコライザーを設定する	95		
ユーザーイコライザーを調整する	96		
調整したイコライザーカーブを保存する	96		
音響効果を設定する	97		
ソースの音量レベルを設定する	97		
システムの設定をする	98		
システムを初期化する	99		

Bluetooth

Bluetooth[®] 機器の登録と設定	105
本機に Bluetooth 機器を登録する	105
オートペアリング機能で登録する	106
Bluetooth の設定をする	106
Bluetooth 機器の使用する機能を変更する	107
登録した機器を削除する	108
本機のデバイス名を変更する	108
ハンズフリーを使う	109
電話メニュー画面を表示する	109
電話メニュー画面の見かたと操作	109
ハンズフリーで電話を受ける / 切る	110
プリセットダイヤルを使う	110
プリセットダイヤルから電話をかける	110
プリセットダイヤルに電話番号を登録する	110
プリセットダイヤルの登録を削除する	111
履歴から電話をかける	111
電話帳から電話をかける	112
PBAP 対応機器の電話帳を登録する	112
電話帳を削除する	113
ダイヤルして電話をかける	113
地点情報から電話をかける	113
リダイヤルで電話をかける	114
音声認識機能で電話をかける	114
Bluetooth オーディオ機器を 再生する	114
画面の見かたと操作	114

スマートフォン連携

スマートフォン連携について	116
NaviCon.....	116
SMART USEN.....	116

オプション

バックアイカメラシステムを使う	117
バックアイカメラシステムを設定する	117
セレクトビューバックアイカメラを使う	118
画質を調整する	118
バックアイカメラを使う	118
画面の操作.....	118
画質を調整する	119

ETC 車載器 / ETC2.0 車載器を使う. 119

ETC 情報について	119
ETC2.0 情報について	120
ITS スポットとは.....	120
ETC 予告アンテナについて.....	120
アップリンクとは	120
VICS 機能を利用する.....	120
ETC2.0 車載器の接続設定をする	120
ETC に関する設定をする.....	121
ETC の案内出力を設定する.....	121
ETC の料金表示を設定する.....	121
ETC2.0 に関する設定をする	121
ETC 履歴 / 車載器情報を見る	121

ステアリングリモコンを使う

ステアリングリモコンについて.....	122
独自に機能を割り当てる.....	123
ステアリングリモコンキーの割り当てを 変更 / 初期化する.....	125

付録

自車位置の測位精度について	126
地図記号の凡例.....	128
地図データベースについて	130
ソフトウェア使用許諾契約書	132
VICS について	134

メディアおよびファイルについて	136
Bluetooth について.....	140
iPhone について	141
故障かなと思ったら	142
主な仕様.....	149
特許権 / 著作権 / 商標など	150
索引.....	153
保証とアフターサービス	155

本機のサポート情報を役立てよう！

本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報や地図更新など本機の最新情報を掲載しています。
<https://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/> で型名を選択してください。



安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

警告



本機は DC12V ⊖ アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC24V 車(大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など)で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売会社にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

**作業前に必ずバッテリーの ⊖ 端子を外す**

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

パーキング検出（パーキングブレーキ）コードは正しく配線する

正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

 注意**自動車のコンソールに取り付ける**

本機の使用または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

**直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けけない**

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

機器を取り外すときは、機器の温度を確認して取り外す

長時間の使用などにより機器が熱くなりやけどなどの原因となることがあります。

**コードの扱いに注意する**

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠ 警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売会社、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

⚠ 注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売会社かサービス窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

MEMO

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書と注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中は一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(→ P.142)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売会社またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃する際には、フィルムアンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどをご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール (ANT CONT) 端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください。(→ P.23)

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。
- 偏光サングラスを使用すると、視認性が低下する場合があります。

ナビゲーションについて

- 本機のナビゲーション機能は地図と音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。本機はあくまで走行の参考として、ルート案内時でも走行中は必ず道路標識など実際の交通規制に従って走行してください。
 - 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
 - 走行中は、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中でも細街路が表示されます。
 - 細街路を走行中の現在地図画面
 - 市街地図を表示しているとき
 - マップマッチングしていないとき
 - 駐停車中
- *: 細街路とは、幅員 5.5m 未満の道路のことをいいます。

フロントパネルの安全装置について

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

個人情報の消去は、システムを初期化する（→ P.99）/ 暗証番号を解除する（→ P.101）で行うことができます。

なお、次のデータや設定は 99 ページの「システムを初期化する」では消去できません。個別に消去 / 解除してください。

● 暗証番号の解除

当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、以下の窓口までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-977-846

(ディーラーオプション専用窓口)

FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022

神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

(土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH：FH-SS 変調方式を表します。

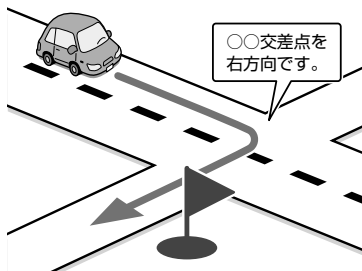
1：電波干渉距離は 10m 以下です。

□ □ □：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズが入ることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

簡単機能ガイド

ナビゲーション機能



■ 目的地検索画面

施設の名称やジャンル、住所など、多彩な検索方法から行き先を探すことができます。
(→ P.41)



● ルート探索・編集

行き先を設定すると、最適なルートが探索されます。優先する道路や距離別のルートを選んだり、経由地を追加することもできます。
(→ P.50)

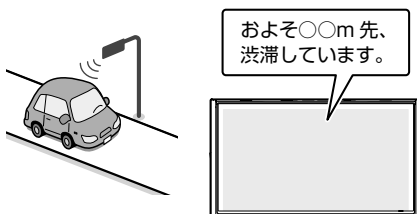


● ルート案内

行き先までのルートのほか、方面看板や交差点のレーン情報などをイラストや音声でお知らせします。(→ P.53)



ドライブに役立つ交通情報



VICS 情報を受信して、渋滞や規制など、さまざまな交通情報をアイコンや音声でお知らせします。(→ P.79)

また、別売の ETC 車載器や ETC2.0 車載器を接続すると、ETC の利用料金をお知らせすることもできます。(→ P.121)



音楽などを楽しむ

いろいろなメディアで音楽などをお楽しみいただけます。

■ ソース切替画面 (→ P.67)



iPhone

USB

SD

FM

AM

Bluetooth® AUDIO

SMART USEN

交通情報

STANDBY

情報確認や各種設定の変更

情報・設定画面では、ECO 情報や接続状態を確認できます。

また、本機のさまざまな設定をお好みにあわせて設定し直すことができます。

■ 情報・設定画面 (→ P.79)



● ナビゲーション設定

地図に表示する情報や、案内の方法などを設定します。(→ P.86)

● サウンド設定

車内の音響効果や音質などを設定します。(→ P.92)

● システム設定

車両やシステム全般の設定を行います。(→ P.98)

● 外部機器設定

Bluetooth、外部機器などの接続設定を行います。(→ P.101)

● 登録地点編集

登録した地点の名称や電話番号などを編集します。(→ P.65)

本書の読みかた

この取扱説明書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(→ P.6)
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法について説明しています。(→ P.16)
ナビゲーション	地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション（以降、「ナビ」）の操作方法について説明しています。(→ P.27)
オーディオ・ビジュアル	オーディオ・ビジュアル（以降、「AV」）の操作方法について説明しています。(→ P.67)
情報・設定	VICS 情報、ECO 情報などの情報について、および本機のシステム設定、サウンド設定などについて説明しています。(→ P.79)
Bluetooth	携帯電話やスマートフォン、オーディオプレーヤーを Bluetooth で接続したときの操作方法について説明しています。(→ P.105)
スマートフォン連携	スマートフォンと連携して使うことのできる便利な機能について説明しています。(→ P.116)
オプション	ETC 車載器やバックアイカメラなどの別売品を接続したときの操作方法について説明しています。(→ P.117)
付録	関連する資料やトラブルシューティングを掲載しています。(→ P.126)

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。

インデックス：
章の内容を示すインデックスです。

AVの基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

1 **【HOME】** を押して **【ソース切替】** をタッチする



フロントパネルのキー名称：
本書ではフロントパネルのキーを次のように表記しています。

HOME → **【HOME】**

ボタン名：
本書では、文字のあるボタンを次のように表記しています。



→ **【ソース切替】**

文字が記載されていないボタンは、本機で表示されるアイコンを掲載しています。

AM または FM を聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを AM または FM に切り替える (→ P.66)

ここまでの手順：
下で説明する操作の前に、ここに記載されている操作を行います。

参照ページ：
参照ページのページ番号です。

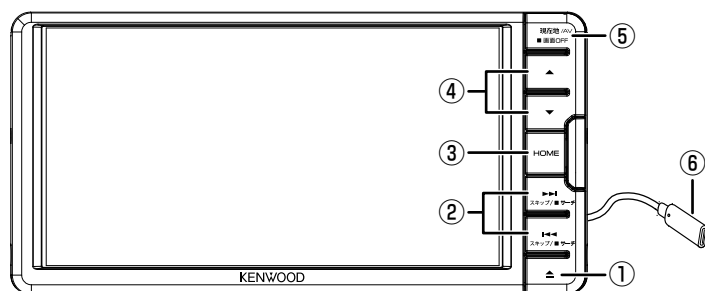


- ・リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- ・アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- ・走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

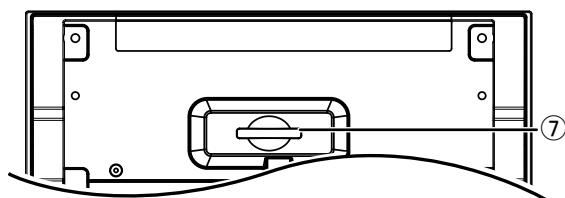
補足：
手順の補足説明や制限事項などについて説明しています。

※ 上記はサンプルページです。本書の実際のページとは異なる場合があります。

各部の名称とはたらき



パネルオープン時



① **【▲】（オープンキー）**

フロントパネルの角度調整や SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

② **【◀◀】 / 【▶▶】（スキップ / サーチキー）**

- FM/AM / :
放送局を切り替えます。
FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- 音楽再生 :
前または次の曲、ファイルを再生します。
押し続けると、早戻し / 早送りします。
- SMART USEN :
お気に入り登録済みのチャンネルに切り替えます。

③ **【HOME】**

- ホーム画面を表示します。
- 押し続けると、スマートフォン（Bluetooth 接続中）の音声認識機能が起動します。

④ **【▼】 / 【▲】（音量キー）**

- AV の音量を調整 (0 ~ 40) します。
- ハンズフリー電話中は、着信音量と受話音量を調整 (0 ~ 40) します。



- 【▲】を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。
- ナビゲーションの音声案内中に音声案内の音量を音量キーで調整できるように設定できます。
- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、外部機器設定でも調整できます。
- 案内音声の音量は、ナビ設定でも調整できます。(→ P.86)
- ハンズフリー電話中の音量調整をしないように設定することもできます。(→ P.106)
- スズキ緊急通報作動時は、SOS インジケータが点灯し、以下の全ての音声が消音します。このとき、音量キーやステアリングリモコンなどで音量調整はできません。
 - ナビ案内音声
 - AV 出力
 - ハンズフリー出力
 - 操作音

⑤ **【現在地 / AV】**

- 現在地図画面を表示します。
- 現在地図画面表示中に押すと選択しているソースの AV 画面を表示します。
- 押し続けると、画面の表示がオフになります。

⑥ **USB 端子**

USB 機器または iPhone を接続します。

⑦ **SD カード挿入口**

SD カードを挿入します。

本機のフロントパネルについて

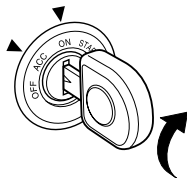
- フロントパネルを閉じているときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。
- フロントパネルオープン中に電源をオフ (ACC オフ) にするとフロントパネルは自動的に閉じます。
- フロントパネルオープン中に電源をオフ (ACC オフ) にするとフロントパネルは自動的に閉じますが、このときにパネルに触れてもフロントパネルは開きません。

基本操作

電源を入れる / 切る

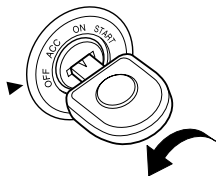
電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。



電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。



- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合には、GPS の測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによっても、GPS の測位に時間がかかります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消去されません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。

タッチパネルの基本操作

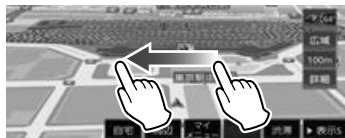
■ タッチする

指先で画面を押します。



■ ドラッグする

指先で画面を押さながら動かします。



■ フリックする

指先で画面の上を素早くはらいいます。



フロントパネルの角度を調整する

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいようにフロントパネルの角度を調整できます。

角度を調整しても見づらい場合は視野角を調整してください。



- 1 【▲】（オープンキー）を押す
- 2 チルト [0] ~ [6] をタッチする





- ・フロントパネルの角度が“0”以外に設定されていても、電源オフ時には“0”の位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

視野角を調整する

マイナスの値に設定するほど、画面がより白みがかって見えます。

- 1 【▲】（オープンキー）を押す
- 2 視野角 [-3] ~ [0] をタッチする



本機の画面 / リストの操作

■ 前の画面に戻る

「戻る」をタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。



■ 項目が無効のとき

選択できない項目は、タッチしても操作することはできません。



■ リストの操作

リストでは、上下にスクロールして見たい項目を表示します。リストのスクロールには、次の 2 つの方法があります。

- ・スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする
ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。フリックしたときは、スクロール中のリストをタッチすると、スクロールを止めることができます。



- ・リストをページ送りする
送りたい方向の ▲ または ▼ をタッチします。



▲ または ▼ をタッチするとリストの最初または最後を表示します。

■ 設定画面

設定画面は、設定の種類ごとにまとめてリストで表示されます。

リストをスクロールして目的の設定の種類①を探し、項目をタッチして決定します。

②をタッチするとそれぞれの設定項目の先頭を表示します。



ホーム画面での操作

ホーム画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。
ホーム画面は、フロントパネルにある【HOME】を押すと、いつでも表示できます。

ソース切替画面 (→ P.67)

AV ソースを切り替える画面を表示します。



マイメニュー画面 (→ P.21)

よく使う AV ソースやショートカットボタンなどを表示します。



ホーム画面



ルート編集画面を表示します。
(→ P.60)

目的地検索画面 (→ P.41)

施設の名称やジャンル、住所など、いろいろな検索方法で行き先を検索できます。



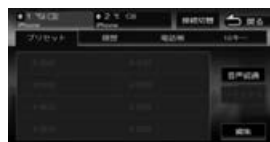
情報・設定画面 (→ P.79)

ECO、VICS の情報や、ナビ、システム、サウンドなどを設定します。



電話メニュー画面 (→ P.109)

電話 (Bluetooth ハンズフリー) メニュー画面を表示します。



サブメニュー (→ P.23)

画面の明るさ調整や、画面をオフ、ユーザーを切り替えるボタンなどを表示します。



マイメニューを使う

マイメニューは、よく使う AV ソースやショートカットボタン、特別メモリ地点などを表示して使うことができます。

また、エンジンオイルなどの車両メンテナンスについても設定することができます。

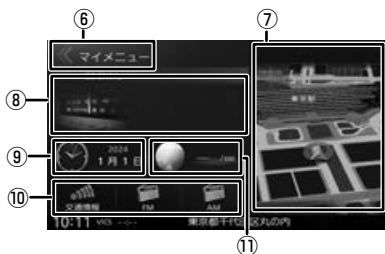
マイメニューを表示する

- 1 【HOME】を押して【マイメニュー】をタッチする



マイメニューが表示されます。
マイメニューは2画面あります。

⑤ 【マイメニュー>>】と⑥ [<<マイメニュー]で切り替えます。



- ① 車両メンテナンスの設定画面を表示します。
- ② ③、④、⑩を編集する画面を表示します。
- ③ 機能ショートカットボタン
- ④ 特別メモリ地点ボタン
- ⑤ / ⑥ マイメニュー画面を切り替えます。

- ⑦ 現在地図を表示します。ルート案内中は次の案内ポイントまでの距離と交差点名称も表示されます。
- ⑧ 選択しているソースの AV 画面を表示します。
- ⑨ 日付と時刻を表示します。タッチすると1か月分のカレンダーを表示します。
- ⑩ よく使う AV ソースを3つまで割り当てることができます。(マイソース)
- ⑪ ECO 情報を表示します。ルート案内中はタッチするたびに ECO 情報と目的地までのおおよその距離 / 到着予想時刻に切り替わります。

ショートカットボタンを割り当てる

マイメニュー画面の機能ショートカットボタンに本機の機能を割り当てます。また、マイソースに AV ソースを割り当てます。

- 1 【編集】をタッチする



- 2 機能ショートカットボタン、またはマイソースの割り当てたいボタンをタッチする



- 3 リストから機能または AV ソースを選ぶ

特別メモリ地点の編集をする

特別メモリ地点を登録している(→ P.64) と、ここから名称や電話番号を編集することができます。

1 [編集] をタッチする



2 編集する特別メモリ地点のボタンをタッチする



3 地点を編集する

地点の名称や電話番号、グループを編集できます。



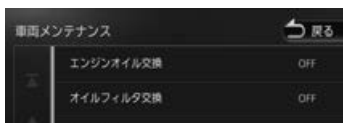
編集については 65 ページをご覧ください。

車両メンテナンスを設定する

1 [メンテナンス] をタッチする



2 設定する項目をタッチする



3 各項目の設定をする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
お知らせ設定	ON/OFF*	以下の設定した項目をお知らせするかしないかを設定します。
通知年月日	年月日 / 未設定 *	交換日などを設定します。
通知開始設定	なし */ 3 日前から / 7 日前から	お知らせを開始する日を設定します。
通知開始距離	*** km/ 未設定 *	何 km 走行したらお知らせするかを設定します。
通知まであと	お知らせするまでの残りの距離を表示します。	
メンテナンス名称	「お好み 1」、「お好み 2」でお知らせする名称を設定します。 文字入力については 25 ページをご覧ください。	
設定消去	設定内容を消去します。タッチするとメッセージが表示されます。[はい] をタッチすると設定を消去します。	

*: お買い上げ時の設定です。



- [通知開始距離] は「バッテリー交換」、「車検」、「法定点検」、「お好み 1」、「お好み 2」では設定できません。
- [メンテナンス名称] は「お好み 1」、「お好み 2」のみ設定できます。
- 設定した日、距離などになると本機を起動したときに画面でお知らせします。
※ 表示された画面の [今後表示しない] をタッチすると次回起動時からはお知らせしません。 (“お知らせ設定” しないになります)
- お知らせするメンテナンス時期と実際のメンテナンス時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 新たにメンテナンス情報を設定したい場合は、必ず [設定消去] をタッチしてください。
- メンテナンス情報は、GPS からの日付情報と車速信号を使用します。

サブメニューを使う

本機の画面の明るさ、画面表示のオフやユーザーを切り替えるボタンなどが表示されます。

サブメニューを表示する

- 1 【HOME】を押して【サブメニュー】をタッチする



サブメニューが表示されます。



- サブメニューを閉じるには、もう一度【サブメニュー】をタッチします。

アンテナを伸ばす / アンテナをしまう

オートアンテナの設定を「あり」にしている場合(→ P.98)、オートアンテナを伸ばしたりしまったりできます。

【アンテナを伸ばす】:

アンテナを伸ばします。

【アンテナをしまう】:

アンテナが収納されます。

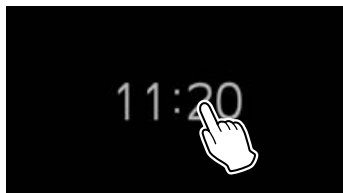


- この機能は、オートアンテナ車に本機のオートアンテナコントロールを接続しているときに働きます。
- アンテナをしまうとFM VICSの受信状態が悪くなることがあります。

画面表示を消す

本機を使用しないときなどに、[画面オフ]をタッチして画面表示を消します。

画面をオンにするには画面をタッチします。



- 【現在地 / AV】を押し続けても画面をオフにできません。
- 画面表示を消しているときに本機の電源をオフにしても、次に電源をオンにしたときには、画面表示はオンになります。
- バックアイカメラが接続されている場合は、画面表示のオフ中にシフトレバーを「R」に入れると、バックアイカメラの画面が表示されます。
- 画面表示を消しているときに別の画面を表示すると画面オフは解除されます。
- 画面表示を消しているときに時計を表示しないように設定できます。(→ P.98)

画面の明るさ

本機の画面の明るさ(−4〜+4)を

− または + をタッチして調整します。



- カメラの映像の明るさは、カメラ画面の【映像調整】の「ブライトネス」で調整します。(→ P.119)

ユーザーを切り替える

本機は2ユーザー分の設定を保持し、切り替えることができます。

■ 切り替わる項目

- 音量設定（音声案内、着信、受話、Bluetooth の音質調整のマイクゲイン）
- 地図表示の設定（地図の向き、縮尺、ランドマーク）
- ユーザー登録地点
- 目的地検索履歴
- マイルルートアジャスター

1 【HOME】を押して【サブメニュー】をタッチする

2 【ユーザー】をタッチする



タッチするたびにユーザーが切り替わります。切り替わる項目の設定を変えると、選択中のユーザーの設定として自動的に保存されます。



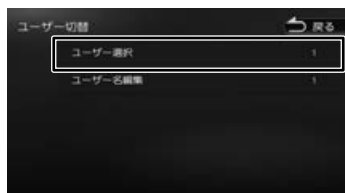
- ・ユーザーの切替はシステム設定で切り替えることもできます。

システム設定から切り替える

1 【HOME】を押して【情報・設定】をタッチして【システム】をタッチする

2 【特別】をタッチして、【ユーザー切替】をタッチする

3 【ユーザー選択】をタッチする



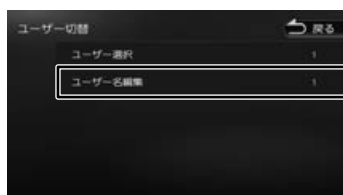
4 ユーザーを選ぶ



選択したユーザーの設定に切り替わります。設定を変えると、選択中のユーザーの設定として自動的に保存されます。

ユーザー名を編集する

1 【ユーザー名編集】をタッチする



2 名前を編集する



この画面でユーザーの名称を編集することができます。

3 【決定】をタッチする



- ・文字の入力方法は25ページをご覧ください。

文字入力のしかた

入力形式を切り替える

文字の入力形式をキーボード形式と携帯電話のようなテンキー形式に切り替えます。

1 「入力切替」をタッチする



文字の種類を切り替える

入力する文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えます。

1 切り替える文字の種類をタッチする



【切替】：

タッチするたびに、かな（ひらがな）/ カナ（カタカナ）/ 英数字 / 記号に切り替わります。

【小文字】：

小文字に切り替わります。

【半角】：

半角英数字または半角記号に切り替わります。

キーボード形式で文字を入力する

画面のキーボードを使って文字を入力します。ひらがな、カタカナ入力の場合は、漢字に変換することもできます。

1 文字を選んでタッチする



2 変換する場合は、【変換】をタッチする



【無変換】：

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする



文字の変換結果が確定されます。

4 【決定】をタッチする



テンキー形式で文字を入力する

1 文字を選んでタッチする



■ フリック入力

例：「い」を入力する場合

[あ]をタッチして左側にはらいます。

例：「あい」を入力する場合

[あ]をタッチします。

その後、[あ]をタッチして左側にはらいます。

■ トグル入力

例：「い」を入力する場合

[あ]を素早く2回タッチします。

例：「あい」を入力する場合

[あ]をタッチします。

その後、[あ]を素早く2回タッチします。

[確定]：

入力した文字を確定します。

2 変換する場合は、[変換] をタッチする



[無変換]：

文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする



文字の変換結果が確定されます。

4 [決定] をタッチする

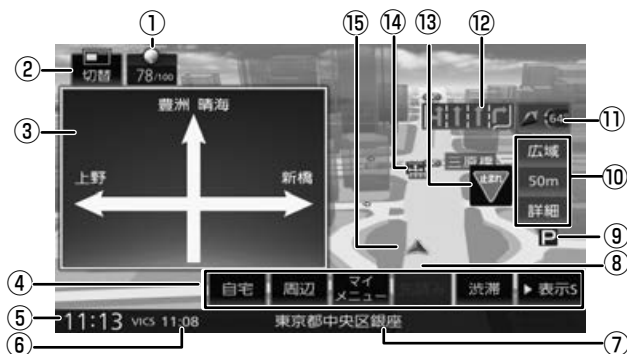


- ◀ または ▶ をタッチして消去したい文字の右側にカーソルを移動して [消去] をタッチすると一文字を消すことができます。
- [全消] をタッチし続けると、文字をすべて消すことができます。
- 名称検索の名称入力は、[確定] をタッチして決定してください。

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

現在地図画面以外を表示しているときにフロントパネルの【現在地 / AV】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



① エコ情報

エコ情報を点数で表示します。

② [切替]

タッチすると地図 2 画面表示の設定画面が表示されます。

③ 方面看板

方面看板情報がある交差点に近づく则表示されます。タッチすると表示を消します。表示しないように設定することもできます。（→ P.87）

④ ショートカットボタン

タッチすると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。ボタンの表示する数は「表示 S」と「表示 L」で異なります。詳細は 36 ページをご覧ください。

⑤ 時計

現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。

⑥ VICS 情報提供時刻

VICS 情報の提供時刻が表示されます。

⑦ 現在地情報

現在の自車位置の情報が表示されます。

⑧ 走行軌跡

これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示しないように設定できます。（→ P.90）
また、走行軌跡のデータを消去することもできます。（→ P.90）

⑨ ランドマーク

目印となる施設がマークで地図上に表示されます。表示するランドマークを設定することができます。（→ P.86）

⑩ [広域] / [詳細]

タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。（→ P.29）
ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。縮尺表示をタッチするとスライダーバーが表示され縮尺を変えることができます。（→ P.29）

⑪ (コンパスボタン)

地図の方位が表示されます。タッチすると、地図の向きと 2D/3D 表示を切り替えることができます。（→ P.30）
3D 表示のときにタッチし続けると、スライダーバーが表示され、傾き角度を変更することができます。（→ P.30）

⑫ レーン情報

次の交差点のレーン情報が表示されます。表示しないように設定することもできます。（→ P.87）

⑬ (一時停止表示) / (日没ライト案内と警告表示)

一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止アイコンが表示されます。表示しないように設定することもできます。（→ P.87）
日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告が表示されます。表示しないように設定することもできます。（→ P.99）

⑭ 案内地点

-  : 方面看板の案内地点が表示されます。
-  : レーン情報の案内地点が表示されます。表示しないように設定することもできます。(→ P.87)

⑮ 自転車マーク

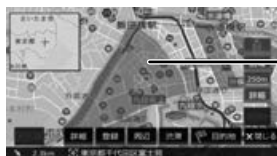
タッチすると自転車マークの周りの地図が拡大して表示されます。(ワンタッチルーペ機能)(→ P.29) ワンタッチルーペは、表示しないように設定することもできます。(→ P.86)



- ・細街路(幅員 5.5 m 未満の道路)は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図(→ P.29)の表示中は、常に細街路が表示されます。
- ・地図 2 画面表示中と案内情報表示中はワンタッチルーペ機能(→ P.29)は使用できません。

ゾーン 30 エリアの表示について

ゾーン 30 エリアとは、歩行者や自転車の安全な通行を確保するために、時速 30 キロの速度規制を実施しているエリア(区域)のことです。縮尺が 300m 以下のときに地図上に青紫色で表示されます。表示しないように設定することもできます。(→ P.86)



ゾーン 30
エリア



- ・気象・災害情報エリア(→ P.80)と重なる場合は、気象・災害情報エリアの表示が優先されます。
- ・ゾーン 30 エリアは、スクロール地図にも表示されます。
- ・地図の縮尺によっては、地図画面全体が青紫色で表示されることがあります。

ランドマークの情報を見る

1 情報を表示したいランドマークのアイコンをタッチする



施設名と現在地への距離と方向(矢印)が表示されます。

さらに詳細な情報を見るには、[詳細]をタッチします。詳細情報については、35 ページをご覧ください。



- ・複数のランドマークが重なっている場合は、[切替]をタッチすると、表示するランドマークの情報を切り替えることができます。
- ・ランドマークは、ガソリンスタンド/コンビニエンスストア/ファミリーレストラン/ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示します。
- ・地図の向きが 3D ビューの場合、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。

地図の縮尺を変える

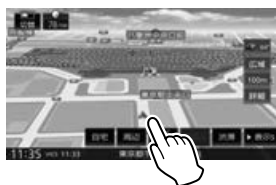
1 【広域】または【詳細】をタッチする



それぞれのボタンをタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

■ 自車位置の周りを拡大表示する (現在地図画面のみ)

縮尺が 65m 以上 650m 未満のときに、自車マークをタッチすると自車位置の周りの地図が拡大して表示されます。(ワンタッチルーペ)
ワンタッチルーペの表示をタッチすると解除されます。



ワンタッチルーペを表示するかしないかを設定することができます。(→ P.86)

■ スライダーバーで縮尺を変える

1 縮尺表示をタッチして、タッチしたままスライダーバーのつまみを上下にドラッグする



市街地図について

市街地図は、縮尺が 100m 以下のスケールで表示されます。ナビ設定の「市街地図の表示縮尺」を「50m 以下」にすると、50m 以下のスケールで表示できます。設定については 86 ページをご覧ください。

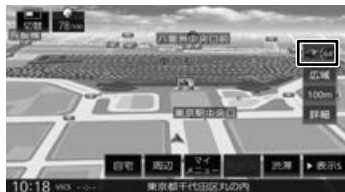


- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自車マークが道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面(→ P.34)で縮尺を変えても、現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。
- 走行中は、連続スクロール、スライダーバーでの縮尺変更と、画面を直接タッチして拡大/縮小することはできません。

地図の表示方法を切り替える

1 地図画面のコンパスボタンをタッチする

タッチすると共に地図の表示方法（向き、2D/3D 表示）が切り替わります。



(3D ビュー)

進行方向が画面の上方向になる向きで、3D 地図が表示されます。3D 地図の傾き角度は変更することができます。(→ P.30)

市街地図 (→ P.29) では、スケールを 50m 以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル 3D マップが表示されます。



(ノースアップ)

2D 地図の北が画面の上方向になるように表示されます。

(ヘディングアップ)

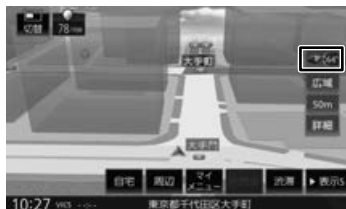
2D 地図で進行方向が画面の上方向になるように表示されます。



- ・地図の向きは、ナビ設定で切り替えることもできます。(→ P.86)
- ・地域によっては、バーチャル 3D マップを表示できない場所があります。

3D 地図の傾き角度を変更する

1 コンパスボタンをタッチし続ける



スライダバーが表示されます。

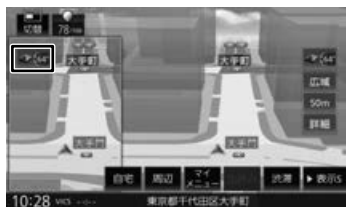
2 スライダバーのつまみを上下にドラッグする



スライダバー上の任意のポイントをタッチしても傾き角度を変更できます。

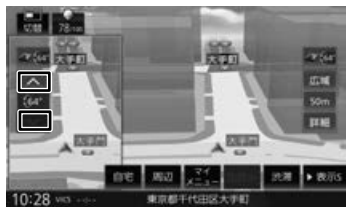
■ 地図画面の傾き角度設定

1 コンパスボタンをタッチし続ける



傾き角度調整ボタンが表示されます。

2 傾き角度調整ボタンを押す



傾き角度調整ボタンをタッチするたびに 5 度ずつ調整できます。



- 傾き角度設定は、スクロール地図を表示中も変更できます。
- 現在地図の傾き角度は保存されるため、スクロール地図で傾き角度を設定しても、現在地図にすると元の傾き角度に戻ります。
- 現在地地図と地図子画面は同じ傾き角度になります。

地図を2画面表示にする

現在地図画面の上に地図、選択しているソースのAV画面またはINFO画面を表示することができます。

1 [切替]をタッチする



2 表示したい項目をタッチする



[地図] :

現在地図画面が表示されます。

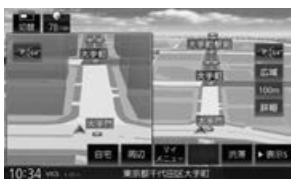


[地図&地図小]、[地図&地図中] :

現在地図画面に地図小画面または、地図中画面を表示します。



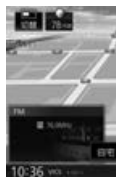
地図小画面



地図中画面

[地図& AV 小]、[地図& AV 中] :

現在地図画面に AV 小画面または、AV 中画面を表示します。



AV 小画面



AV 中画面

[INFO] :

INFO ウィンドウを全画面で表示します。



[地図& INFO 小] :

現在地図画面に INFO 小画面を表示します。



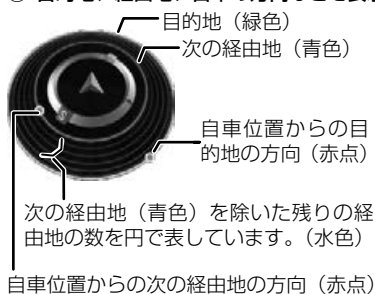
① 時計：現在時刻を表示します。

② カレンダー：
カレンダーを表示します。タッチすると1か月分のカレンダーを表示します。

③ 次の経由地までののおおよその距離と到着時刻

④ 目的地までの距離と到着時刻

- ⑤ 目的地、経由地、自車の方向などを表示



- ⑥ 情報表示切替エリア：

渋滞情報、速度履歴、再生中の曲情報
や次の曲情報などが表示されます。

- ⑦ ECO 情報：

ECO ドライブ評点を表示します。

情報表示切替エリアの表示項目

INFO ウィンドウの情報表示切替エリア (⑥) に表示される項目は以下になります。

表示は、10 秒（お買い上げ時の設定）ごとに自動で切り替わります。切り替え時間の設定については 87 ページをご覧ください。

■ 渋滞表示

現在地から一般道では最長5km先、高速道路では最長20km先までの渋滞情報を色で表示します。



- ・ルート案内中は、一般道または高速道の距離制限以内に目的地がある場合は目的地までの渋滞情報を色で表示します。



- ルート案内をしていないときは、走行中の道路で道なりと判断した地点までを表示します。

■ 速度履歷

速度履歴とエコドライブ評価を表示します。

グラフは、30 秒ごとの平均速度履歴を色で表示します。緑：0～50km/h、黄：50～80km/h、赤：80km/h～



■ 交差点案内（ルート案内中のみ）

ルート案内中は交差点の曲がる方向と案内ポイントまでのおおよその距離が表示されます。



■ ゴール（ルート）情報（ルート案内中のみ）

現在地からゴール（目的地）までのルート情報を表示します。



■ 高速道路施設情報

高速道路を走行中は、現在地より先のIC/JCT、サービスエリアまたはパーキングエリアまでのおおよその距離と到着予想時刻や各施設の情報を表示します。



■ AV ビジュアライザ

現在受信中の放送局や、再生中の曲の情報などを表示します。

アナライザー表示と波紋表示があります。

アナライザー表示



波紋表示



- ・ 選択中のソースの受信状態や再生状態により、表示可能な情報が変わります。

地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。



■ フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。



■ ポイントスクロール

地図をタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。

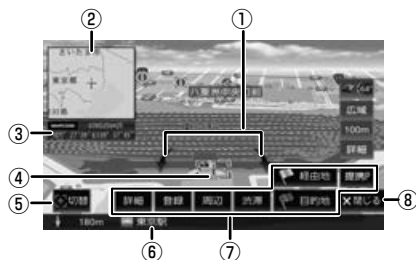


スクロールした後に【現在地 / AV】を押すと、現在地図画面に戻ります。



- ・ 走行中は、連続ポイントスクロール、ドラッグスクロールはできません。

スクロールしたときの地図表示



① 地図回転ボタン：

3D ビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。

② フライビューマップ：

スクロールした地点を広域地図で表示します。フライビューマップは表示しないように設定することもできます。(→ P.86)

③ マップコードと緯度・経度表示：

マップコードと緯度・経度をそれぞれ表示できます。(→ P.86)

④ [カーソル]：

地図画面の中心点に表示されます。

⑤ [切替]：

同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。

⑥ 地点情報：

カーソルの位置の地点情報(住所や名称など)と現在地への距離と方向(矢印)が表示されます。

⑦ [提携P]：

カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

【目的地】 / 【経由地】(経由地は目的地を設定しているときのみ表示)：

この地点を目的地 / 経由地に設定します。

【渋滞】：

VICS 情報画面が表示されます。

【周辺】：

周辺の施設を検索します。検索画面では一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。(→ P.41)

【登録】：

この地点を登録します。

【詳細】：

地点詳細情報画面を表示します。
スマートフォンで QR コードを読み取ると、MapFan のサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。詳しくは、35 ページをご覧ください。

⑧ 【閉じる】：

⑦の表示を消して、[表示] に切り替わります。



- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

マップクリップを利用する

マップクリップは、QR コード (2 次元バーコード) に変換した地点情報を、スマートフォンで読み取って地図を表示する MapFan のサービスです。

- スマートフォンに表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することができます。
- 地図を表示するには、QR コードを読み取るアプリケーションが必要です。
- 地図の縮尺変更や移動は無料です。(通信料、パケット料はお客様負担となります。)
- 「マップクリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

1 地点詳細情報画面を表示したい地点を表示して、【詳細】をタッチする



2 QR コードを表示して、スマートフォンで読み取る



（地点地図）：

カーソルのある地点の位置を QR コードで表示します。

（地点地図＋現在地）：

カーソルのある地点と現在地からのルート情報を QR コードで表示します。

（地点地図＋目的地）：

カーソルのある地点と目的地からのルート情報を QR コードで表示します。

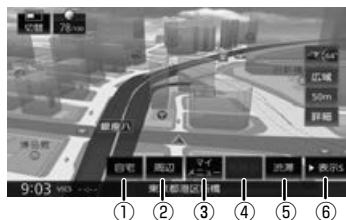


QR コードを読み取ると MapFan のサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

ショートカットボタンを使う

現在地図画面にショートカットボタンが表示されます。ショートカットボタンは「表示 S」と「表示 L」と「表示なし」があります。

■ ショートカット L ボタンを表示時



- ① **【自宅】**：
自宅へ帰るルートを探索します。(→ P.40)
自宅を登録していない場合は自宅を登録することができます。
- ② **【周辺】**：
現在地の周辺にある施設の検索や、地点情報を表示します。検索した施設を目的地に設定することもできます。
検索画面では一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。
(→ P.41)
- ③ **【マイメニュー】**：
マイメニューを表示します。(→ P.21)
- ④ **【先読み】**：
ルート案内中にタッチすると案内先読みガイドを表示します。(→ P.56)
- ⑤ **【渋滞】**：
VICS 情報画面が表示されます。
- ⑥ **【表示 S】**：
ショートカット S ボタンを表示します。

■ ショートカット S ボタンを表示時



- ① **【マイメニュー】**：
マイメニューを表示します。(→ P.21)
- ② **【先読み】**：
ルート案内中にタッチすると案内先読みガイドを表示します。(→ P.56)
- ③ **【渋滞】**：
VICS 情報画面が表示されます。
- ④ **【閉じる】**：
ショートカットボタンの表示を閉じます。

■ ショートカットボタンを閉じた時



- ① **【表示 L】**：
ショートカット L ボタンを表示します。

周辺検索をする

現在地の周辺の施設を検索します。

1 【周辺】をタッチする

タッチするとジャンルリストが表示されます。



検索したいジャンルをタッチしてください。
ジャンルを絞り込んだ後の操作は、44
ページの手順 4 からご覧ください。

ナビゲーションの流れ

1

行き先を
探す

目的地検索画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。(→ P.41)



2

行き先に
設定する

【目的地】をタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。(→ P.50)



3

ルートを
設定する

ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。(→ P.60)



4

案内を
開始する

【案内開始】をタッチする

ルート案内が始まります。



地図画面から

地図をスクロールして行きたい場所を探し(→ P.34)、【目的地】をタッチします。



- ・ 経由地は、目的地を設定した後に設定することができます。(→ P.60)

【推奨】 / 【距離】 / 【高速】 / 【一般】 / 【高速 / 距離】 :

指定した条件でルートを探索します。(→ P.51)

【ルート情報】 :

選択したルートの情報を確認します。(→ P.62)

大分県 / 宮崎県 :

利用するインターチェンジを変更します。(→ P.61)

有料道路を使用するときに表示されます。

ルート案内を開始した後は

- 経由地の設定・入れ替え
途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。(→ P.60)
- 案内終了
ルート案内を中止します。(→ P.63)

自宅を登録する / 自宅に帰る

自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

1 【HOME】を押して【目的地検索】をタッチする



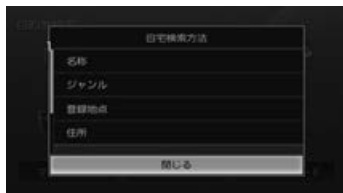
2 【自宅】をタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 【はい】をタッチする

4 自宅の検索方法をタッチする



ここでは住所で説明します。

住所以外の検索方法については「行き先を探す」(→ P.41)をご覧ください。

5 画面に従って自宅の住所を入力する



6 【自宅に設定する】をタッチする



7 【決定】をタッチする



この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は25ページをご覧ください。



- 自宅の名称と電話番号は、後からでも編集・登録することができます。(→ P.65)
- 自宅を登録していない場合は、現在地図画面の【自宅】からも登録することができます。(→ P.36)

自宅を変更する

- 1 新しく自宅に登録する地点を検索して「登録」をタッチする



- 2 「自宅」をタッチする



確認メッセージが表示されます。

- 3 「はい」をタッチする

- 4 「決定」をタッチする



この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は 25 ページをご覧ください。

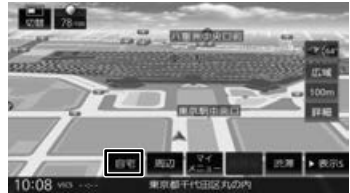


- 先に自宅として登録されていた地点は、「未分類」グループに変更されます。

自宅へ帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

- 1 現在地図画面で「自宅」をタッチする
「自宅」が表示されていないときは「表示」ボタンを表示してください。(→ P.36)



確認メッセージが表示されます。

- 2 「はい」をタッチする

- 3 「案内開始」をタッチする



自宅へのルート案内が開始されます。
(→ P.50)



- 目的地検索画面の「自宅」をタッチして、ルート案内を開始することもできます。
(→ P.41)

行き先を探す

本機の「目的地検索」画面に表示されるさまざまな方法を使って、行き先(目的地)や立ち寄りしたい場所(経由地)を探すことができます。

1 【HOME】を押して【目的地検索】をタッチする



2 検索方法を選択する



【名称】:

施設の名称やキーワードで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。(→ P.41)

【ジャンル】:

食事やショッピングなど、ジャンルで行き先を探します。(→ P.44)

【登録地点】:

本機に登録した場所(登録地点)から行き先を探します。(→ P.45)

【自宅】:

現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。(→ P.50)

自宅が未登録の場合はメッセージが表示され自宅を登録することができます。登録方法については 39 ページをご覧ください。

【住所】:

住所から目的地を探します。(→ P.45)

【履歴】:

いままでにルートを探索した行き先から探します。(→ P.46)

【電話番号】:

電話番号を入力して行き先を探します。(→ P.46)

【マップコード】:

マップコードを入力して行き先を探します。(→ P.46)

【郵便番号】:

郵便番号を入力して行き先を探します。(→ P.46)

検索画面での営業時間外表示について

目的地検索の周辺検索、ジャンル検索、名称検索、電話番号検索、提携駐車場検索では、検索した施設が営業時間外の場合「！」マークを表示します。



- ・営業時間外表示ができるジャンルは、駐車場、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフード、回転寿司です。
- ・隔週定休日、不定期な休日や営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- ・営業時間のデータがない施設の場合は、営業時間外の「！」マークを表示できません。
- ・実際の営業時間は各施設に問い合わせてください。

名称から探す

会社や店舗などの施設名(読みがな)から行き先を探します。

1 【名称】をタッチする



2 施設の名前を入力して、【検索】をタッチする



- ・施設名の入力時に、「ん」(濁点)や「」(半濁点)は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」(促音)や「ゃ」「ゅ」「ょ」など(拗音)は、通常の文字で入力してください。
- ・文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致件数が5件以下になると、自動的に手順3の画面が表示されます。

3 行き先をタッチする



【エリア指定】：

さらに指定したエリアで検索します。
(→ P.42)

【ジャンルで絞り込む】：

さらにジャンルで絞り込みます。(→ P.43)

【名称順】：

検索結果を名称順で表示します。

【距離順】：

検索結果を距離順で表示します。

4 【このピンを選択】をタッチする



【リスト】：

リストから施設を選ぶことができます。

【目的地】をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.50)



- ピンは手順3で指定した行き先を含めて50件まで表示します。指定する施設を変更したい場合は、[前へ]または[次へ]をタッチするかピンを直接タッチすると、施設を切り替えることができます。
- 地図をスクロールして[この地点を選択]をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。
- 一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。(→ P.41)

エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

1 「名称から探す」(→ P.41) の手順3で【エリア指定】をタッチする



2 指定したい項目をタッチする



【地域を指定】：

地域(都道府県から)を入力して検索します。

【地図から指定】：

地図をスクロールして場所を指定します。

【現在地周辺】 / 【目的地周辺】 /

【経由地(1～5)周辺】：

指定した地点の周辺地図が表示されます。



- 【目的地周辺】 / 【経由地(1～5)周辺】は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

3 【前へ】 / 【次へ】をタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順4に進んでください。



【リスト】：

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして「この地点を選択」をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 「このピンを選択」をタッチする



「目的地」をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.50)

ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル（施設の種類）でさらに絞り込むことができます。

1 「名称から探す」(→ P.41) の手順3で「ジャンルで絞り込む」をタッチする



2 ジャンル名をタッチする



さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

「全て検索」:

選択したジャンルすべて（下層の分類も含む）で検索します。

3 目的の施設を選ぶ



「エリア指定」:

さらに指定したエリアで検索します。
(→ P.42)

「名称順」:

検索結果を名称順で表示します。

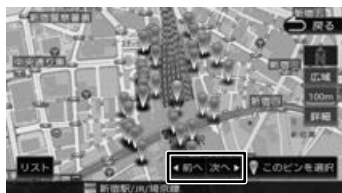
「距離順」:

検索結果を距離順で表示します。

4 「前へ」 / 「次へ」をタッチして、目的の施設を選ぶ

「前へ」 / 「次へ」をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、「前へ」 / 「次へ」は表示されません。手順5に進んでください。



「リスト」:

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして「この地点を選択」をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 「このピンを選択」をタッチする



「目的地」をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.50)

ジャンルから探す

食事やショッピングなど、目的のジャンルから行き先を探します。

1 [ジャンル] をタッチする



2 ジャンル名をタッチする



さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

[全て検索]：

選択したジャンルすべて（下層の分類も含む）で検索します。

3 指定したい項目をタッチする



[地域を指定]：

地域（都道府県から）を入力して検索します。

[地図から指定]：

地図をスクロールして場所を指定します。

[ルート周辺]：

ルート前方にある施設を表示します。

[現在地周辺] / [目的地周辺] /

[経由地（1～5）周辺]：

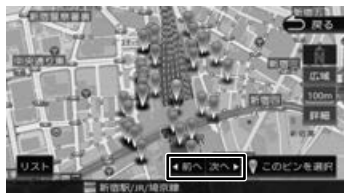
指定した地点の周辺地図が表示されます。

4 [前へ] / [次へ] をタッチして、

目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が1件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順5に進んでください。



[リスト]：

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして「この地点を選択」をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 [このピンを選択] をタッチする



「目的地」をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.50)



- 手順3の「ルート周辺」は現在地周辺の半径10km以内でルート前方両側にある施設を検索します。(最大50件) その他は指定した地点を中心とした半径50km以内で検索します。(最大50件)
- 「ルート周辺」検索をしたときに、一般道のルート周辺に高速道路、有料道路の施設が表示されることがあります。
- 手順3の「目的地周辺」 / 「ルート周辺」 / 「経由地（1～5）周辺」は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。
- 一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。(→ P.41)

登録地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。



- ・事前に本機に地点を登録してください。地点の登録方法は64ページをご覧ください。
- ・登録地点の編集については、65ページをご覧ください。

1 「登録地点」をタッチする



2 グループ名をタッチする



3 登録地点をタッチする



「目的地」をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.50)

住所から探す

住所から行き先を探します。

1 「住所」をタッチする



2 画面に従って行き先にしたい住所を選ぶ



リストの最初に現在地周辺の都道府県が4つまで表示されています。

「目的地」をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.50)



- ・番地の入力画面では、丁目、番、号は、“-”でつないで一度に入力することができます。
- ・「あ」～「わ」をタッチすると表示中のリストを頭出しします。
- ・「代表地点」をタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。

履歴から探す

いままでにルートを探索した行き先から探します。

1 【履歴】 をタッチする



2 検索履歴をタッチする



【目的地】をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.50)



- 目的地または経由地として設定した場合が履歴に保存されます。
- 検索履歴は 50 か所まで保存されます。50 か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

履歴を削除する

履歴地点を削除します。



- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

1 検索履歴画面で【削除】をタッチする



2 削除する履歴地点をタッチする

履歴は複数選択することもできます。選択した項目はチェックが付きます。



【全て選択】：

リスト内のすべての地点を選択します。

【全て解除】：

リスト内のすべての地点の選択を解除します。

3 【削除】をタッチして、【はい】をタッチする



電話番号・マップコード・郵便番号で探す

電話番号、マップコード、郵便番号から行き先を探します。

1 【電話番号】、【マップコード】または【郵便番号】をタッチする



2 番号を入力して【検索】をタッチする



電話番号、郵便番号のハイフンは入力しません。



カーソルの前にある文字を消去します。

▼
【目的地】をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.50)



- 電話番号および郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。【検索】をタッチする必要はありません。
- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。」というメッセージが表示されます。
- 一部の場所では、一つの電話番号に複数の地点が登録されているとリスト選択画面が表示されます。その場合はリストから場所を選ぶと地図が表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。
- 電話番号検索では一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。(→ P.41)
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して【検索】をタッチします。
- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ (<https://www.denso-solution.com/mapcode/index.html>) をご覧ください。
- 電話番号検索で電話番号を入力するときは、国番号の入力は必要ありません。

NaviCon で探す

「NaviCon」では、地点や店舗を検索して登録しておくことができます。登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することもできます。ほかにも、NaviCon には次の機能があります。

- NaviCon は、他のスマートフォンアプリと連携することができ、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報を NaviCon に取り込むことができます。連携できるアプリの種類や NaviCon の操作については下記の URL をご覧ください。
<https://navicon.com/user/support/>
- スマートフォンの連絡先等に登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、地点情報を NaviCon で目的地に設定できます。
- 他の NaviCon ユーザーに、地点情報をメールまたは SMS で送信することができます。
- 他の NaviCon ユーザーからの地点情報を受信することができます。
- 友達マップ機能に対応しています。



- 「NaviCon」アプリのバージョンによっては一部機能が動作しない(友達マップが表示できないなど)場合があります。「NaviCon」アプリは最新のバージョンでご使用ください。

本機とスマートフォンを接続する

1 App Store または Google Play™ から「NaviCon」をスマートフォンにダウンロードする

2 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhone を接続する場合

本機の USB ケーブルに接続します。
接続ケーブルは Apple 製 USB-C - Lightning ケーブル (Lightning コネクタ搭載 iPhone) または Apple 製 USB-C 充電ケーブル (USB-C コネクタ搭載 iPhone) を使用します。また、Bluetooth で接続することもできます。Bluetooth 接続には登録が必要です。(→ P.105)

■ Android™ 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。(→ P.105)

NaviCon からナビの地図表示を操作する

NaviCon の画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。

また、NaviCon 側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。さらに、地図を拡大 / 縮小すると、本機の地図も拡大 / 縮小されます。

なお、本機から NaviCon の地図表示を変えることはできません。

目的地を設定する

NaviCon で検索した地点の情報を本機に送信して、行き先として設定することができます。

1 「NaviCon」を起動する

2 「NaviCon」から本機に地点情報を送信する

送信方法については「NaviCon」のアプリの説明をご覧ください。

送信された場所が本機に表示されます。



「目的地」をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.50)

NaviCon 友達マップ機能を使う

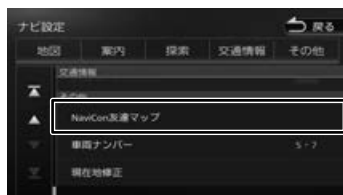
友達マップ機能を使うと、本機の地図画面に友達の位置が表示されます。

また、表示された友達の位置を目的地に設定することができます。

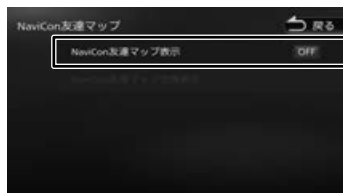
■ ナビの友達マップ機能を ON にする

- 1 本機にスマートフォンを接続する
- 2 スマートフォンの「NaviCon」を起動する
- 3 スマートフォンの「NaviCon」の友達マップ機能をオンにする
- 4 [HOME] を押して [情報・設定] をタッチして [ナビ] をタッチする

5 「[その他]」をタッチして、[NaviCon 友達マップ] をタッチする



6 「NaviCon 友達マップ表示」をタッチして ON にする



[OFF]:

友達マップ機能をオフにします。

現在地図画面を表示すると友達アイコンが表示されます。



- 本機の友達マップ機能をオンに設定しても他のデバイスを接続したときは、設定が「OFF」になります。設定を「ON」にしたときと違う機器を使用する場合は設定を「ON」にし直してください。

■ 友達マップ機能のアイコンについて

友達マップ機能のアイコンが本機の画面に表示されます。

友達アイコン

緑色：友達の NaviCon と通信できています。

灰色：友達の NaviCon が通信できません。

最後に通信できた場所を表示しています。



本機との接続状態表示アイコン

緑色：

友達マップ機能が「ON」になっています。

黄色：

友達マップ機能は「ON」になっているが通信エラーが発生しています。

灰色：

友達マップ機能は「ON」になっているが通信できない状態になっています。

表示なし：

友達マップ機能が「OFF」になっています。

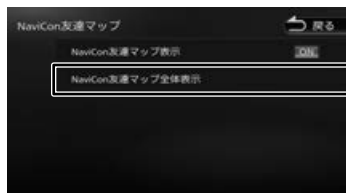


- 友達アイコンには NaviCon に登録しているニックネームを全角 3 文字まで表示します。
- 友達アイコンは 2.5km 以下のスケールで表示されます。

■ 友達の位置を全体表示する

友達の位置が自車位置から遠い場合や複数の友達と接続している場合など、地図画面に友達の位置が表示できないときに全体画面で位置を表示することができます。

1 NaviCon 友達マップ画面を表示して [NaviCon 友達マップ全体表示] をタッチする



全体表示画面が表示されます。

■ 友達の位置を目的地に設定する

1 NaviCon 友達マップ画面を表示して [NaviCon 友達マップ全体表示] をタッチする



全体表示画面が表示されます。



複数の友達の位置情報を取得している場合は、[◀]、[▶]、[リスト] をタッチして友達を選ぶことができます。

2 [この友達を選択] をタッチする



3 [目的地] をタッチする



ルートの探索が始まります。(→ P.50)

提携駐車場を行き先に設定する

検索した施設に提携駐車場がある場合は、[提携 P]が表示されます。提携駐車場を目的地に変更することができます。

1 [提携 P] をタッチする



2 [前へ] / [次へ] をタッチして、目的の施設を選ぶ

[前へ] / [次へ] をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、[前へ] / [次へ] は表示されません。手順 3 に進んでください。



[リスト]：

リストから施設を選ぶことができます。

3 [このピンを選択] をタッチする



[目的地] をタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.50)

ルートの探索と案内

本機のナビゲーション機能は地図と音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。

本機はあくまで走行の参考として、ルート案内時でも走行中は必ず道路標識など実際の交通規制に従って走行してください。

ルートの探索と案内を開始する

検索した場所を行き先(目的地)に設定して、ルートの探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

目的地に設定してルートを探索する

ここまでの手順 ▶ 行き先を検索して、地点情報画面を表示する

1 [目的地] をタッチする



表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。

すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。



- 経由地を設定する場合は 60 ページをご覧ください。
- 「一般道に目的地(経由地)を設定します。よろしいですか?」と表示されたときは、
[はい]：一般道を目的地(経由地)に設定します。
[いいえ]：高速・有料道路を目的地(経由地)に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着地点を選択しますか?」と表示されたときは、52 ページをご覧ください。

ルートの探索条件を選択して案内を開始する

1 ルートの探索条件をタッチする

目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および最初と最後の IC 名が表示されます。



【推奨】：

本機が推奨するルートです。

【距離】：

走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

【高速】：

高速道路（有料道路）を優先的に通るルートです。

【一般】：

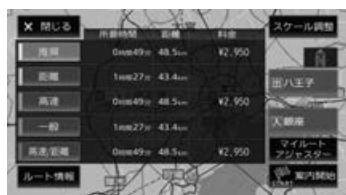
一般道を優先的に通るルートです。一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路（有料道路）を通るルートになることがあります。

【高速 / 距離】：

高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

【全行程】：

すべての条件でルートを探します。各条件のルートと比較することができます。



【ルート情報】：

選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

大津田橋 / あさる野：

利用するインターチェンジを変更します。
(→ P.61) 有料道路を使用するときに表示されます。

【スケール調整】：

タッチすると地図を拡大、縮小、スクロールできます。[戻る] をタッチすると元の画面に戻ります。

【マイルートアジャスター】：

ルート探索の詳細条件を設定します。マイルートアジャスター機能は、5 ルート(推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離) すべてに詳細条件が反映されます。設定については 91 ページをご覧ください。

2 【案内開始】 をタッチする



ルート案内が開始されます。(→ P.53)



- 表示される料金は、ETC 割引などの各種割引は考慮されません。
- フェリーを利用したルートを案内する場合は「所要時間」表示にフェリーアイコンが表示されます。

フェリーアイコン：



- フェリーを利用したルートを案内する場合は「料金」表示には、フェリーの利用料は含まれていません。
- スマート IC または ETC 専用入口を利用したルート案内をする場合は「料金」表示にスマート IC アイコンが表示されます。

スマート IC アイコン：



- 料金は、地図データベース作成当時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「¥〜以上」または「¥---」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

VICS によるルート探索

■ 規制考慮探索

- VICS 規制情報（通行止めなど）を受信している場合、規制を考慮したルートを探します。
- ルート案内中に規制のある箇所近づいたら、自動的に規制箇所を回避するルートが探索されます。

■ 渋滞考慮探索（最適時間考慮探索）

- ルート案内中に渋滞のある箇所近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。（最適時間考慮探索）

複数の到着地点情報があったとき

検索した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

1 「はい」 をタッチする



2 「前へ」 / 「次へ」 をタッチして、目的の施設を選ぶ

「前へ」 / 「次へ」 をタッチするたびに施設情報が切り替わります。



【リスト】：

リストから施設を選ぶことができます。



- 地図をスクロールして【この地点を選択】をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

3 「このピンを選択」 をタッチする



選択した地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。（→ P.50）

ルート案内画面について

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。



① ◆案内ポイント

② 自転車マーク

③ 案内ルート

目的地または経由地までのルートです。
道路の種類（一般道 / 高速道路 / 細街路）によって色分けして表示されます。

④ 次案内ポイント情報

次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

⑤ 次々案内ポイント情報

次案内ポイントからさらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

⑥ レーン情報表示

- （白色矢印）：案内レーン
- （水色矢印）：推奨通過レーン

⑦ 到着予想時刻と距離

対象の行き先（次の経由地または目的地）への到着予想時刻と距離が表示されます。
経由地が設定されている場合は、このボタンをタッチするたびに対象の行き先が切り替わります。
到着予想時刻は交通状況などにより変わります。

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



① ハイウェイモードボタン

ハイウェイモード画面が表示されていないときにタッチすると、ハイウェイモード画面を表示します。

② ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。
ここです案内または高速分岐イラストが表示されます。

③ 施設名称 / 施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ (IC) / ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA)、料金所の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。SA・PAの場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。
施設情報に表示される設備のマークは、最大4個です。

④ 交通情報表示

施設間の交通情報が表示されます。
橙色：混雑
赤色：渋滞

⑤ 規制情報表示

車線規制などの情報 (VICS 情報規制表示) が3件までマークで表示されます。(→ P.80)
マークをタッチすると詳細情報を表示します。情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報をタッチすると詳細情報を表示します。

⑥ スクロールボタン / 現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報をスクロールします。スクロールすると [現区間] ボタンが表示されます。[現区間] をタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑦ [閉じる]

ハイウェイモード画面を閉じます。
①をタッチすると再度表示します。

⑧ 自転車マーク

⑨ 案内ルート



- ・ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中も表示されます。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくと、ここでは案内、交差点案内図、高速道分岐イラストが表示されます。割り込み表示は、現在地図画面で表示されます。

割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、割り込み表示をタッチしてください。消した割り込み表示は、[案内図] をタッチするともう一度表示できます。



- AV 画面を表示しているときに割り込み表示があると、割り込み表示画面に切り替わります。
- 割り込み表示は表示しないように設定することができます。(→ P.87)

ここでは案内表示

案内する交差点の約 350m (高速道路は約 1.1km) 手前に近づくと表示されます。



交差点案内図の表示

■ 交差点拡大図

約 200m (高速道路は約 800m) 手前に近づくと表示されます。



■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



■ 空港構内案内

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



■ 側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

■ 高速入口

都市高速道路入口の約 300m 手前で表示されます。



■ 分岐

出口やジャンクションの約 1km 手前で表示されます。



場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。



■ 出口後分岐

出口分岐を通過後、約 1km 手前に近づく则表示されます。



■ 料金所後分岐

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。



ETC レーン表示

出口または本線料金所に近づく、料金所ゲートの ETC レーンが表示されます。

ETC レーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によっては ETC レーン情報が無い場合があります。その場合は表示されません。



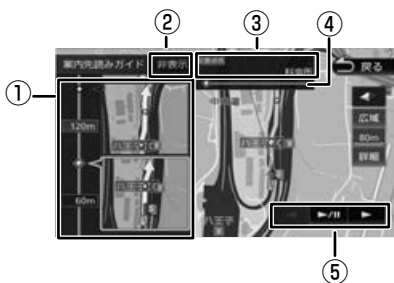
案内先読みガイド表示

ルート案内中に、次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントを見ることができます。

1 [先読み] をタッチする



案内先読みガイドが表示されます。



① 案内先読みガイド

画面下から上にスクロールすると次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントが 2 ポイントずつ表示されます。

② [非表示]

案内先読みガイドの表示を消します。消すと [非表示] は [表示] になります。[表示] をタッチするとガイドを表示します。

③ 交差点名

①の案内ポイントに交差点名情報があるときに表示します。上段に①の上の交差点名、下段に①の下交差点名を表示します。

④ プログレスバー

案内先読みガイド表示 (最大 99) 全体の、どのあたりのガイド表示かを表します。

⑤ オンルートスクロール操作ボタン

ボタン	説明
	探索したルートに沿って、順方向へスクロールします。
	探索したルートに沿って、逆方向へスクロールします。
	オンルートスクロール中にタッチすると一時停止します。一時停止中にタッチすると一時停止する前の状態に戻ってオンルートスクロールを再開します。



- ・ オンルートスクロール中に地図の拡大、縮小または地図のスクロールをすると一時停止します。

音声案内について

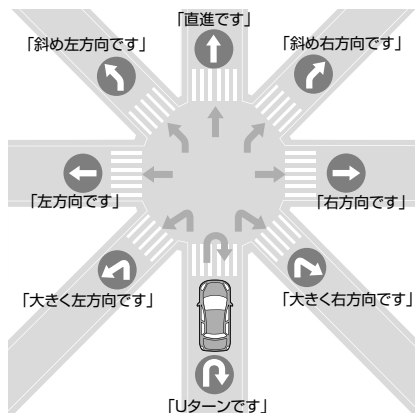
本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。



- 音声案内の前には“ジャン”と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。(→ P.87)
- 音声案内の音量調整は 87 ページをご覧ください。
- 音声案内はフロントスピーカーのみ出力します。
- 音声案内時の AV 音量を設定することができます。(→ P.98)
- ルート案内ポイントの直前では“ポンポン”と音が鳴ります。
- 音声案内は、案内の状況により情報があっても音声案内しない場合があります。

■ 進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。



- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

■ 規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 渋滞回避探索

渋滞を回避してルートを再探索したときは、「交通情報が変わりました。新しいルートで案内します。」と案内します。渋滞回避の探索は設定があります。91 ページをご覧ください。

■ 合流 / 踏切 / 車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います（ルート案内中以外でも音声案内を行います）。これらの音声出力の設定は変更することができます。(→ P.87)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行する車線にご注意ください。
	この先、走行する車線にご注意ください。左へお寄りください。*
	この先、走行する車線にご注意ください。右へお寄りください。*

(* ルート案内時のみ)



- 合流案内は首都高速などの都市高速のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要となきに行います。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

■ 一時停止の音声案内

一時停止情報がある交差点の手前で、音声案内を行います。(→ P.87)

音声
この先、一時停止です。

■ VICS 渋滞 / VICS 車線規制の音声案内

前方に VICS 渋滞情報、VICS 車線規制情報がある場合、状況に応じて、音声案内を行います（ルート案内中以外でも音声案内を行います）。

案内の種類	音声
VICS 渋滞案内	およそ〇〇 km/m 先、(交差点名)を先頭に、〇〇 km/m 渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、(交差点名)を先頭に、渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、〇〇 km/m 渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、渋滞しています。
VICS 車線規制	およそ〇〇 km/m 先、車線規制があります。
	およそ〇〇 km/m 先、車線規制があります。左へお寄りください。

盗難多発地点の音声案内

目的地や現在地付近で盗難が多い場合、音声案内を行います。（現在地付近については、ルート案内中以外でも音声案内を行います）
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

目的地付近で盗難が多い地点

音声

目的地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

ACC OFF した付近で盗難が多い地点

音声

現在地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

リフレッシュ通知

運転開始（本機が電源オン状態のままで）から90分ごとに以下の音声案内を行います。

音声

そろそろ90分になります。休憩しませんか？

日没ライト案内 / 警告音声案内

日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、音声で案内または警告を行います。（→ P.99）

案内の種類	音声
ライト案内	そろそろ日没です。ライトをつけましょう。
ライト警告	無灯火です。ライトをつけてください。

スマートフォン置き忘れ警告音声案内

iPhone が USB 接続されているときに、本機の電源をオフにすると以下の音声案内を行います。

音声

携帯電話を忘れていませんか？

逆走注意喚起について

逆走注意喚起とは、インターチェンジ入口、サービスエリア、パーキングエリアなどで逆走（逆方向に車を走らせる）に対する注意を促す機能です。高速道路 / 有料道路入口を走行しているとき、SA/PA で本機の電源をオフにしてオンにしたときに、画面表示と音声で注意喚起します。お買い上げ時は注意喚起する設定になっています。注意喚起しないように設定することができます。（→ P.87）

画面表示

注意喚起は約5秒間表示します。
画面をタッチすると表示が消えます。



音声案内

案内の種類	音声
逆走注意喚起	自動車専用道路に入ります。逆走にご注意ください。



- 高速道路 / 有料道路出入口付近の道路では、一般道のように見える道路も道路種別としては高速道路 / 有料道路に分類されている場合があります。このような道路を走行すると、逆走注意喚起がされる場合があります。
- 下記のような条件の場合には、注意喚起しないまたは、タイミングがずれることがあります。また下記以外の状況でも注意喚起が正しく行われない場合があります。
 - 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行している場合。また道路だけでなく施設（SA/PA など）の新設、移動、改修などによって走行する道路条件が変わってしまう場合も注意喚起が正しく行われない場合があります。
 - 高架橋下や高層ビル群地帯、トンネルなど GPS 信号が正しく受信できない場合
 - 旋回、切り返し、その他の走行条件などにより、ナビゲーションが正しい道路に自車位置を表示できない場合
 - サービスエリア、パーキングエリアで本機の電源をオンにしたときは、本機が起動するまで注意喚起しません。
 - 道路条件やインターチェンジの形状によっても案内タイミングが遅れる場合があります。
- 走行の際は、実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。

逆走検知について

本機は対象道路と対象エリアで逆走状態を検知すると、画面表示と音声で案内を行います。

■ 対象道路と対象エリア

対象道路種別

- ・ 都市間高速道路
- ・ 有料道路
- ・ 都市高速道路 *
- * 都市高速道路は以下の道路です。
 - 首都高速道路
 - 阪神高速道路
 - 名古屋高速道路
 - 福岡高速道路
 - 北九州高速道路
 - 広島高速道路

対象エリア

- ・ SA
本線への合流 / 入口分岐付近
(SA 内の分岐道路を除く)
- ・ PA
本線への合流 / 入口分岐付近
(PA 内の分岐道路を除く)
- ・ IC
本線への合流 / ランプ合流付近
- ・ JCT
本線への合流 / ランプ合流付近
- ・ スマート IC
本線直結型 (SA/PA 直結型を除く)

■ 画面表示

逆走中は以下の表示が表示されます。



[閉じる] をタッチすると表示が消えます。

【現在地 / AV】を押しても表示を消すことができます。

■ 音声案内

音声

逆走しています。



- ・ 以下のような場合、逆走中でも案内しないことや、順走中に案内する場合があります。
 - GPS 信号を受信できない場合など、自車位置の誤差が大きい場合。
 - 複雑な走行規制、構造のインターチェンジ付近を走行している場合。
 - 地図データベースにはない道路や、形状が変更された道路を走行している場合。
- ・ 案内は状況によって正しく行われなかったことがあります。
- ・ 実際の道路状況を確認して、交通規制に従って走行してください。
- ・ 逆走の案内は一般道では行われません。確認のうえ、安全に走行してください。

ルートを再探索する

現在地から、探索条件 (推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離) を変更して、ルートを再探索します。

1 【HOME】を押して【ルート】をタッチする



2 【再探索】をタッチする



3 探索条件を選んで【案内開始】をタッチする



選択したルートでルート案内が開始されます。



- ・ 乗降 IC を指定しているときは、ルートの種類を変更することができません。ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降 IC の指定を解除してください。

ルートを編集する

経由地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

経由地を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点（経由地）を追加します。経由地は5か所まで追加できます。



- 目的地が設定されていないときは経由地を設定できません。

ここまでの手順 ▶ 経由地にしたい行き先を検索する

1 「経由地」をタッチする



2 経由地の挿入位置を確認し、[決定]をタッチする



ルートの探索が始まります。

挿入位置の変更や削除については60ページをご覧ください。

3 探索条件を選んで「案内開始」をタッチする



【到着順変更】：

到着順を編集することができます。編集操作は後述の「目的地・経由地の順番を入れ替える」をご覧ください。



新しいルートで案内が開始されます。

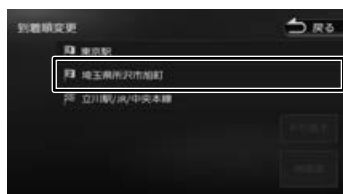
目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

1 【HOME】を押して「ルート」をタッチして「到着順変更」をタッチする



2 順番を変更する行き先をタッチする



3 移動先の「挿入」をタッチする



4 「再探索」をタッチする



【やり直す】：

到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

5 探索条件を選んで「案内開始」をタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地を削除する

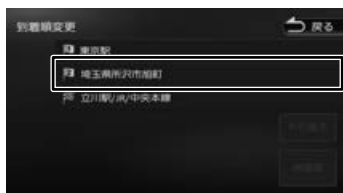


- 削除した地点は元に戻せません。間違えのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

1 【HOME】を押して【ルート】をタッチして【到着順変更】をタッチする



2 削除する行き先をタッチする



3 【削除】をタッチする



選択した行き先が削除されます。

4 【再探索】をタッチする



5 探索条件を選んで【案内開始】をタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口 IC（インターチェンジ）以外の IC を利用するように指定できます。

1 【HOME】を押して【ルート】をタッチして【再探索】をタッチする



2 変更したい入口または出口 IC をタッチする



3 入口または出口に指定する IC 名を地図に直接タッチして選ぶ



【切替】：

タッチした地点に複数の情報があった場合に表示されます。タッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。



- 変更したい IC を中心とした半径 40km 以内にある IC（最大 36 件まで）を選ぶことができます。

4 【この IC に変更】をタッチして【はい】をタッチする



指定した IC を通過するルートが探索されます。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

5 【案内開始】をタッチする



- 手順 4 で違う路線または進行方向と逆方向の IC を選択していると、確認メッセージが表示されます。
- 経由地を設定しているときに、乗降 IC を指定しようとする、確認メッセージが表示され、[はい] をタッチすると経由地が解除されます。
- 乗降 IC を指定しているときに、経由地を設定しようとする、確認メッセージが表示され、[はい] をタッチすると乗降 IC の指定が解除されます。
- 現在地と指定した IC の位置によっては、指定した IC が入口 / 出口にならないルートを探る場合があります。
- 指定した IC 付近で本機の電源をオフ / オンした場合、IC の指定が解除される場合があります。

変更したインターチェンジを元に戻す

1 【HOME】を押して【ルート】をタッチして【再探索】をタッチする



2 【IC 変更を解除】をタッチする



変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

3 【案内開始】をタッチする

走行中のルートを表示する

現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションを確認できます。

ルート全体を表示する

ルート全体を地図画面で表示します。

1 【HOME】を押して【ルート】をタッチして【ルート表示】をタッチする



【ルート情報】：ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。

【デモ走行】：地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。



【×1】 / 【×2】 / 【×3】：

デモ走行のスピードを変更できます。

【デモ終了】：デモ走行を終了します。



- デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変更することができます。

目的地を表示する

目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

- 1 【HOME】を押して【ルート】をタッチして【目的地表示】をタッチする



- 2 表示する目的地または経由地をタッチする

経由地が設定されていないときは、リストは表示されません。



ルート案内を終了する

ルート案内を途中で終了します。

- 1 【HOME】を押して【ルート】をタッチして【案内終了】をタッチする



メッセージが表示されます。

- 2 【はい】をタッチする

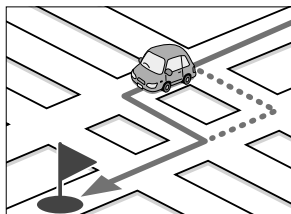
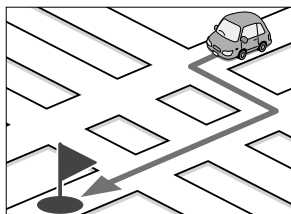
ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。



- ・ ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ルートから外れたときは

案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



地点を登録する

地点を登録する

地図のスクロールや目的地検索画面から探した地点を本機に登録します。
本機には 300 件まで地点を登録できます。

- 1 登録したい場所の地点情報画面を表示する
- 2 「登録」をタッチする



- 3 登録するグループ名をタッチする



- 4 「決定」をタッチする



この画面で登録する名称を編集することができます。文字の入力方法は 25 ページをご覧ください。



- ・ 名称は、後からでも編集することができます。(→ P.65)

登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

- 1 「目的地検索」画面の「登録地点」をタッチする



- 2 見たい地点情報のグループ名をタッチする



登録地点がリストで表示されます。

登録地点を編集する

本機に登録した地点の名称や電話番号、グループを編集できます。

- 1 【HOME】を押して【情報・設定】をタッチして【登録地点編集】をタッチする



- 2 【登録地点編集】をタッチする



- 3 編集したい地点のグループ名をタッチする



- 4 編集したい地点をタッチする



- 5 編集したい項目をタッチして編集する



- 名称を編集する

名称欄をタッチして名前を入力して【決定】をタッチします。



- グループを変更する

グループ欄をタッチして設定したいグループをタッチします。



- 電話番号を設定および変更する

電話番号欄をタッチして電話番号を入力して【決定】をタッチします。



- ・登録地点の住所は編集できません。
- ・文字の入力方法については25ページをご覧ください。
- ・電話番号は15文字まで入力できます。
- ・電話番号のハイフン「-」は省略することもできます。
- ・自宅が設定されているときに、別の地点をグループ変更で自宅に設定しようとする確認メッセージが表示されます。
- ・名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で48文字まで入力できます。

グループを編集する

登録した地点のグループ（登録先）のグループ名とグループアイコンを編集できます。



- ・「未分類」、「自宅」、「特別メモリ地点1～5」のグループ名とグループアイコンの変更はできません。
- ・グループ名には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で48文字まで入力できます。

1 「登録地点を編集する」(→ P.65) の手順2の画面を表示する



● グループ名を編集する

「グループ名変更」をタッチして編集したいグループをタッチします。グループ名を編集して「決定」をタッチします。



● グループアイコンを変更する

「アイコン変更」をタッチしてアイコンを変更したいグループをタッチします。変更したいアイコンをタッチします。



登録地点を削除する



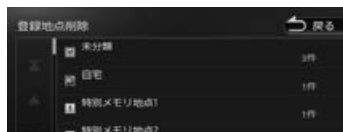
- ・削除した登録地点を元に戻す方法はありません。間違えないように、慎重に操作してください。

1 「登録地点を編集する」(→ P.65) の手順2の画面を表示する

2 「登録地点削除」をタッチする



3 削除したい地点のあるグループ名をタッチする



4 削除したい地点を選ぶ

複数の地点を選択することもできます。



【全て選択】：

リスト内のすべての地点を選択します。

【全て解除】：

リスト内のすべての地点の選択を解除します。

5 「削除」をタッチする



6 「はい」をタッチする

選択した登録地点が削除されます。

AV の基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

- 1 【HOME】を押して【ソース切替】をタッチする



ソース切替画面が表示されます。

- 2 切り替えたいソースをタッチする



【iPhone】：

iPhone の曲を再生します。(→ P.68)

【USB】：

USB 機器のオーディオファイルを再生します。
(→ P.70)

【SD】：

SD カードのオーディオファイルを再生します。
(→ P.70)

【FM】：

FM ラジオ放送を受信します。(→ P.74)

【AM】：

AM ラジオ放送を受信します。(→ P.74)

【Bluetooth AUDIO】：

本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。(→ P.114)

【SMART USEN】：

カーナビ連携アプリケーション「SMART USEN」をインストールしたスマートフォンを接続すると本機でチャンネル選択などの操作をすることができます。(→ P.76)

【交通情報】：

交通情報放送を受信します。(→ P.75)

【STANDBY】：

ソースをすべてオフにします。

■ AV 画面からソース切替画面を表示する

AV 画面左上のソース名をタッチするとソース切替画面を表示します。



ソースをオフ (STANDBY) にする

- 1 ソース切替画面で【STANDBY】をタッチする



- ・ ソースをオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。

現在地図画面から AV 画面を表示する

- 1 【現在地 / AV】を押す



パッセンジャースリープ機能を使う

助手席や後部座席の搭乗者が眠っているときに使用します。運転席以外の席では搭乗者がうるさく感じない音質にし、運転席では音像バランスを維持できる音になります。

- パッセンジャースリープ機能を使用するには、運転席の位置を 98 ページの「ハンドル」で設定する必要があります。
- 各ソースの AV 画面に「Pスリープ」をオン/オフするボタンがあります。チェックを付けると、パッセンジャースリープ機能がオンになります。



- パッセンジャースリープ機能がオン中は、サウンド設定を変更できません。(→ P.92)

iPhoneの曲を再生する

- iPhone ソース中にコントロールできるのは音楽再生のみです。ビデオの再生コントロールはできません。
- iPhone ソースで iPhone を再生するときの接続方法は、USB 接続または Bluetooth 接続です。USB 接続の場合は Apple 製 USB-C - Lightning ケーブル (Lightning コネクタ搭載 iPhone) または Apple 製 USB-C 充電ケーブル (USB-C コネクタ搭載 iPhone) で接続します。Bluetooth 接続の場合は Bluetooth の登録を行ってください。(→ P.105)



- Apple 製 USB-C - Lightning ケーブルおよび Apple 製 USB-C 充電ケーブルは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で変形や故障の原因になります。
- iPhone 接続ケーブルを接続する USB ケーブルは、本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。
- 本機の USB 最大供給電流は 5V ≡ 3A です。

iPhoneを取り外す

ソースを iPhone 以外に切り替えてから、iPhone を取り外します。

iPhone ソースのまま取り外すと、iPhone 内のデータが破損する場合があります。

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを iPhone に切り替える (→ P.67)



- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。



- ① 曲名
 アルバム名
 アーティスト名
 アルバムアート画像

- ② 再生時間
 ③ 接続方法
 ④ シークバー
 ⑤ ランダム再生モード
 ⑥ リピート再生モード
 ⑦ 再生状態
 ⑧ 再生残り時間
 ⑨ 曲番号 / 全曲数

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.68)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
	再生または一時停止（ポーズ）します。
	前または次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



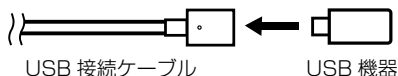
サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の[閉じる]でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 ・ OFF : シャッフル再生モードを解除します。 ・ 曲 : リスト内の曲をシャッフル再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ・ OFF : リピート再生モードを解除します。 ・ ALL : リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 ・ 1 : 再生中の曲をくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

USB 機器 / SD カード のファイルを再生する

USB 機器を接続する



- 本機で再生できる USB 機器は 136 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。
- 本機では USB ケーブルに USB ハブを接続して複数の USB 機器を接続することができます。USB ハブをご使用になる場合は 136 ページの「USB ハブの使用について」を必ずお読みください。
- 複数の USB 機器を接続した場合は、USB の AV 画面で再生する USB 機器を切り替えることができます。(→ P.72)



- ・ USB 機器の端子が Type A の場合は、付属の変換アダプターを使用してください。
- ・ USB ケーブルは本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。
- ・ 本機の USB 最大供給電流は 5V ≒ 3A です。

USB 機器を取り外す

ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外します。

USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

SD カードを入れる / 出す

- 本機で再生できる SD カードは 136 ページの「本機で再生できる SD カード」をご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。



- ・ フルオープンの状態で SD カードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。
- ・ フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。
- ・ SD カードが正しく挿入されていないとフロントパネルを閉じることができません。SD カードを奥まで差し込んでください。

- 1 【▲】（オープンキー）を押す
- 2 [フルオープン] をタッチする

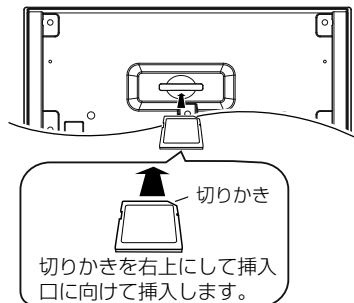


フロントパネルが開きます。

- 3 SD カードを挿入口に入れる、または出す

入れるときは、SD カードが突き当たるまで奥に差し込んでください。

出すときは SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。



- 4 音量以外のキーを押してパネルを閉じる

画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイルを再生します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

ここまでの手順

ソースを USB または SD に切り替える (→ P.67)

オーディオファイルの AV 画面

USB



SD



- 1 曲名 (ファイル名)
- 2 アルバム名 (フォルダ名)
- 3 アーティスト名
- 4 アルバムアート画像

- 5 再生時間
- 6 音声形式
- 7 シークバー

- 5 ランダム再生モード
- 6 リピート再生モード
- 7 再生状態表示
- 8 再生残り時間
- 9 ファイル番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[P スリプ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.68)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
	再生または一時停止 (ポーズ) します。
	前または次のファイルを再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
	前または次フォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 ・再生リストについては 72 ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



USB



SD



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の「閉じる」でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (USB のみ)	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。
[カテゴリー DB 更新]	再生中の USB 機器または SD カードの、カテゴリーデータベースの作成または更新をします。 (→ P.73)
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ●  OFF: ランダム再生モードを解除します。 ●  フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ): 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 ●  曲 (カテゴリーデータベース再生のみ): 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ●  ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 ●  1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 ●  フォルダ (パソコンで保存したファイル再生のみ): 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

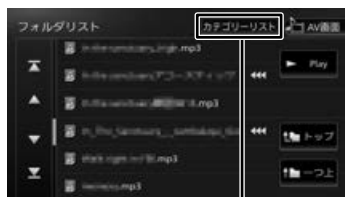
再生リストと再生モードについて

USB ソースおよび SD ソースの再生には以下の再生モードがあります。再生リストを表示して、モードのリストを切り替えるボタンをタッチするたびにリストが切り替わります。ただし、該当するデータがない場合は切り替わりません。

1 [リスト] をタッチする



2 モードを切り替えるボタンをタッチする



モードを切り替えるボタン

● 再生モード

再生リスト	再生モード
フォルダリスト	パソコンで保存したファイルをそのままの状態再生します。 [トップ]、[一つ上] をタッチするとフォルダが表示されます。
カテゴリーリスト	本機でカテゴリーデータベースを作成した USB 機器または SD カードをカテゴリーから選んで再生します。 [トップ]、[一つ上] をタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリーが表示されます。



- ・カテゴリーデータベースモードは、データベースを作成する必要があります。
(→ P.73)

カテゴリーデータベースから曲を再生する

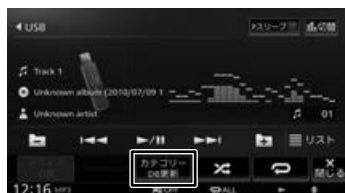
リストから曲を再生するときに、アルバム、アーティストなどタグ情報をもとにカテゴリーから曲を再生できます。

カテゴリーデータベースを作成する



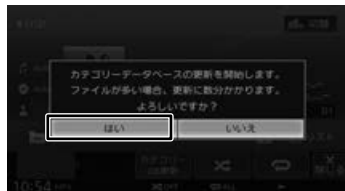
- カテゴリーデータベースの作成、更新は、USB 機器、SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリーデータベース作成、更新中は他の操作はできません。
- カテゴリーデータベースを更新すると、USB 機器または SD カードに _ContentsDB フォルダが作成されます。_ContentsDB フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更または削除しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。
- カテゴリーデータベースは最大 15000 曲登録することができます。

1 サブ機能ボタンの [カテゴリー DB 更新] をタッチする



メッセージが表示されます。

2 [はい] をタッチする



カテゴリーデータベースが作成されます。

カテゴリーモードで再生する

1 [リスト] をタッチする



2 フォルダリスト画面の [カテゴリー リスト] をタッチする



3 再生するファイルを選ぶ

各カテゴリーから曲を選択します。



該当するリストの先頭ファイルから再生されます。

[トップ] :

一番上の階層のリストに移動します。

[一つ上] :

一つ上の階層のリストに移動します。

AM または FM を聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを AM または FM に切り替える (→ P.67)



① プリセットモード

② プリセット番号 / 周波数 / 受信中の放送局名

③ ステレオ受信表示

④ 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッシンジャースリープ機能がオンになります。(→ P.68)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[1] ~ [8] (プリセットボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
◀ / ▶	放送局を選択します。 タッチするたびに、1 ステップずつ周波数を変えて選局します (マニュアル選局)。 タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。

ボタン	説明
◀ / ▶	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します (オート選局)。
[プリセット切替]	プリセットモード (エリア / お気に入り 1 / お気に入り 2) を切り替えます。(→ P.74)
[リスト]	プリセットモードが「エリア」のときに、登録データから取得した放送局をリストで表示します。(→ P.74)

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■ エリアモード

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。

エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局 (コミュニティ FM 局を除く) が周波数の低い順に最大 8 局まで自動的に登録されます。

エリアモードで選択できる放送局は、[リスト] をタッチすると表示できます。(→ P.74)

■ お気に入りモード

手動でお好みの放送局をお気に入り 1 またはお気に入り 2 にそれぞれ 8 局まで登録できます。

(→ P.75)

1 【プリセット切替】をタッチする



タッチするたびに、エリア→お気に入り 1 → お気に入り 2 → エリアの順で切り替わります。

エリアモードの放送局をリストから選局する

エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

1 【プリセット切替】をタッチして、エリアモードに切り替える

2 [リスト] をタッチする



3 受信する放送局をタッチする

1 ~ 8 : プリセットボタンにプリセットされている放送局

コミュニティ FM 局



・「コミュニティ」FM 局とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

放送局を登録（プリセット）する

お気に入りモードのプリセットボタンに手で放送局を登録（プリセット）します。

1 登録する放送局を受信する

マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。(→ P.74)

2 [プリセット切替] をタッチして、「お気に入り 1」または「お気に入り 2」に切り替える



3 登録先のプリセットボタンを 2 秒以上タッチし続ける



受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード（1 または 2）で該当するプリセットボタンをタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報（1620kHz または 1629kHz）を受信します。交通情報に切り替えると、受信状態が良いほうが自動的に受信されます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを交通情報に切り替える (→ P.67)



① 周波数

② 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
[P スリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。(→ P.68)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[1620kHz] / [1629kHz]	受信周波数を 1620kHz または 1629kHz に手で切り替えます。



・ 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

「SMART USEN」を使う

「SMART USEN」は、株式会社 U-NEXT が提供するラジオ型の定額制音楽配信サービス（アプリケーション）です。

「SMART USEN」を利用するには iOS または Android 用スマートフォンアプリケーションが必要です。

「SMART USEN」についてはホームページをご覧ください。 <https://smart.usen.com/>

準備する

- 1 App Store または Google Play から「SMART USEN」をスマートフォンにインストールする

本機とスマートフォンを接続する

- 1 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhone を接続する場合

本機の USB ケーブルに接続します。

接続ケーブルは Apple 製 USB-C - Lightning ケーブル（Lightning コネクタ搭載 iPhone）または Apple 製 USB-C 充電ケーブル（USB-C コネクタ搭載 iPhone）を使用します。

また、Bluetooth で接続することもできます。Bluetooth 接続には登録が必要です。105 ページをご覧ください。

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。（→ P.105）

2 「SMART USEN」を起動する



- 「SMART USEN」を起動して本機に接続しているときは、スマートフォンでの操作はできません。
- 「SMART USEN」のすべてのチャンネルを聴くには有料サービス契約が必要です。
- 「SMART USEN」ご利用時の通信料はお客様のご負担となります。
- 通信が不安定な場合は正常に動作しない場合があります。
- 「SMART USEN」を USB ケーブルで接続した iPhone で使用していると、Bluetooth 接続したスマートフォンでは「SMART USEN」を使用できません。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを SMART USEN に切り替える（→ P.67）



- チャンネル名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アーティスト名は表示されません。チャンネル名と曲名は表示されますが、スクロールはできません。



① CH チャンネル名

♪ 曲名

👤 アーティスト名

アルバムアート画像

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[P スリープ]	チェックを付けるとパッシンジャー スリープ 機能がオンになります。（→ P.68）
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[デバイス切替] (Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
□ / ▶	□ ▶ □ をタッチすると消音します。 ▶ をタッチすると元の音量に戻ります。
[CHANNEL リスト]	聴きたいジャンルやカテゴリからチャンネルを選択します。
[FAVORITE リスト]	お気に入り登録したチャンネルと今までに聴いたことのあるチャンネルをリスト（お気に入りリスト / 履歴リスト）で切り替えて表示します。チャンネルをタッチするとチャンネルが切り替わります。

ボタン	説明
【お気に入り登録】	再生中のチャンネルをお気に入り登録します。
【お気に入り一覧】	お気に入りリストに登録されたチャンネルから最大 99 チャンネルを表示します。タッチするとチャンネルが切り替わります。
【リスト】	再生中の曲、一つ前の曲、再生予定の 5 曲をリストで表示します。このリストからチャンネル選択はできません。

チャンネルを選ぶ

1 【CHANNEL リスト】 をタッチする



2 聴きたいジャンル、またはカテゴリー名をタッチする



3 聴きたいチャンネルをタッチする



【トップ】：
一番上の階層のリストに移動します。

【一つ上】：
一つ上の階層のリストに移動します。

【絞り込み】：
絞り込み条件をタッチすると、表示するチャンネルを絞り込みます。

チャンネル名を検索する

1 【CHANNEL リスト】 をタッチする



2 【チャンネル名検索】 をタッチする



3 検索したいチャンネル名を入力する



- 入力可能最大文字数は、30 文字です。
- 文字入力については 25 ページをご覧ください。

再生中のチャンネルをお気に入りに登録する

再生中のチャンネルをお気に入り登録することができます。

1 【お気に入り登録】 をタッチする



「お気に入りチャンネルに追加しました」と表示されチャンネルを登録します。登録したチャンネルは【FAVORITE リスト】および【お気に入り一覧】から簡単に選択できるようになります。

お気に入りのチャンネルを選ぶ

- 1 「お気に入り一覧」または
「FAVORITE リスト」をタッチする



- 2 聴きたいチャンネルをタッチする
■「お気に入り一覧」をタッチしたとき



「前ページ」 / 「次ページ」:

お気に入り一覧のページを切り替えます。

「一覧を閉じる」:

お気に入り一覧を閉じます。

- 「FAVORITE リスト」をタッチしたとき



「履歴リスト」:

今まで聴いたチャンネルから最大 30 チャンネルのリストを表示します。

「お気に入りリスト」をタッチするとお気に入りリストに戻ります。



- ・「お気に入り一覧」、「お気に入りリスト」、「履歴リスト」のチャンネルを本機で削除することはできません。「SMART USEN」アプリケーションで削除してください。

情報・設定画面について

情報・設定画面では、VICS 情報、ETC 情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

1 【HOME】を押して【情報・設定】をタッチする

情報・設定画面が表示されます。



■ 情報

【VICS】：

FM VICS、ETC2.0 割り込み情報を表示します。(→ P.79)

【接続】：

本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。(→ P.102)

【バージョン】：

本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。(→ P.103)

【ETC】：

本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。(→ P.121)

【ECO】：

車のエコドライブ情報を表示します。(→ P.85)

■ 設定

【ナビ】：

ナビゲーションに関する設定を行います。(→ P.86)

【サウンド】：

サウンドに関する設定を行います。(→ P.92)

【システム】：

システムに関する設定を行います。(→ P.98)

【外部機器】：

外部機器を接続するときの設定を行います。(→ P.101)

【登録地点編集】：

登録地点を編集します。(→ P.65)

VICS 情報を見る

VICS 情報とは

VICS (Vehicle Information and Communication System) は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS 情報は次の3つのレベル(種類)があります。

- ・ **レベル 1 (文字型情報)**
情報が文字で表示されます。
- ・ **レベル 2 (簡易図形型情報)**
情報が進路地図の模式図で表示されます。
- ・ **レベル 3 (地図表示型情報)**
情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

VICS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送 (NHK-FM) と ITS スポットを通じて、VICS の情報を受信することができます。



- ・ ITS スポットから情報を取得するには、本機対応の ETC2.0 車載器 (別売品) が必要です。(→ P.119)

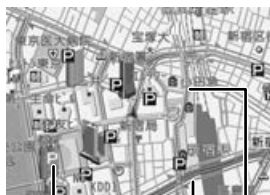
VICS 情報利用上のご注意

- ・ 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
- ・ サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所 (雑音、建造物や地形などの影響で電波の屈折や反射が生じることで起こる電波障害などによる) では、受信困難になることがあります。
- ・ 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります (情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります)。
- ・ FM 放送時間外は利用できません。

地図に表示される VICS 情報

地図表示型（レベル 3）情報の表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に表示されます。



駐車場情報

赤色：満車
 橙色：混雑
 青色：空車
 黒色：不明

統計情報による 渋滞線（点線）

薄赤色：渋滞
 薄橙色：混雑
 薄青色：順調

渋滞情報

赤色：渋滞
 橙色：混雑
 水色：順調

気象・災害情報エリアの表示



気象・災害情報エリア

※気象・災害情報の対象エリアを、情報に応じて赤色または黄色で表示します。

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは以下のとおりです。

事故	通行止め 閉鎖	大型 通行止め	障害物 路上障害	チェーン 規制
故障車	入口閉鎖	入口制限	イベント	出口制限
火災	凍結	車線規制	車線規制： 右側	進入禁止
片側交互 通行	駐車場 閉鎖	駐車場 混雑	駐車場 空き	駐車場 満車
		背景橙色	背景青色	背景赤色
駐車場 不明	SA・PA 閉鎖	SA・PA 混雑	SA・PA 空き	SA・PA 満車
背景黒色	背景橙色	背景橙色	背景青色	背景赤色
SA・PA 不明	その他の 規制	工事	徐行	速度規制
背景黒色				
対面通行	作業	気象情報	災害情報	災害情報



- VICS のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ (<http://www.vics.or.jp/>) をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM 多重放送による VICS 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図表示型（レベル 3）情報を表示できる地図の縮尺は 10m ～ 1km です（一般道では 10m ～ 500m です。また、駐車場情報は 10m ～ 200m で表示します）。
- 車両のアンテナが格納されている場合、FM VICS が受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
- 統計情報による渋滞情報は提供されない地域があります。
- 気象・災害情報エリアを受信した場合、地図の縮尺によっては地図画面全体が赤色または黄色で表示されることがあります。

■「VICs WIDE」サービスによる緊急割り込み表示



【詳細】：

タッチすると緊急情報（特別警報）の詳細を見ることができます。

【閉じる】：

タッチすると緊急情報（特別警報）を画面の下部または上部に表示します。



【詳細】：

上記の VICs 詳細情報を表示します。

【上位置】/【下位置】：

表示を画面上部または下部に移動させます。

【切替】：

複数の緊急情報（特別警報）がある場合に表示されます。タッチするたびに情報の表示が切り替わります。

【閉じる】：

割り込み表示を消します。

地図上の VICs 情報を見る

地図画面に表示された VICs の規制/障害情報マークから、詳しい情報を確認します。

1 規制/障害マークをタッチする



地点情報表示に規制情報が表示されます。

【切替】：

複数の VICs 情報やランドマークが重なっている場合に表示されます。タッチすると、表示する情報が切り替わります。

2 【詳細】をタッチする



VICs の詳しい情報が表示されます。

ETC2.0 割り込み表示

本機に対応の ETC2.0 車載器（別売品）を接続している場合、ITS スポットからデータを受信したとき、または指定された地点で地図画面に情報が割り込み表示されます。（優先情報は地図以外でも割り込み表示されます。）音声情報が含まれる場合は、自動的に再生します。

対応している割り込み情報の種類は、次のとおりです。

- ・ 優先情報
 - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
- ・ 一般情報
 - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報



▼：表示ページを切り替えます。

【再生】 / 【停止】：

音声情報を再生または停止します。



- ・ ETC2.0 優先情報、一般情報が割り込み表示しないように設定できます。（→ P.83）
- ・ 割り込み表示の時間を設定することができます。（→ P.83）
- ・ 音声情報を再生中は、設定した割り込み表示の時間を過ぎても表示し続けます。
- ・ ETC2.0 一般情報は交差点案内図、高速分岐イラストを表示していると割り込み表示しません。

VICIS 文字 / 図形情報を見る

本機で受信した VICIS 情報（文字型情報 / 簡易図形型情報）を表示します。

- 1 **[HOME]** を押して **[情報・設定]** をタッチして **[VICIS]** をタッチする
- 2 表示したい情報をタッチする



[FM 文字情報] / [FM 図形情報] :
FM-VICIS 情報から受信した文字 / 図形情報を表示します。

[ビーコン文字情報] / [ビーコン図形情報] :
使用しません。

[ETC2.0 割り込み情報] :
ETC2.0 車載器（別売品）で受信した割り込み情報を表示します。（→ P.82）

FM VICIS 図形情報 / 文字情報の表示



番号をタッチすると、文字 / 図形情報の詳細情報表示が切り替わります。

■ 図形情報



▼ / ▲ : 一つ前または次の情報に切り替えます。

■ 文字情報



▼ / ▲ : 一つ前または次の情報に切り替えます。

ETC2.0 割り込み情報



▼ / ▲ : 一つ前または次の情報に切り替えます。

[再生] / [停止] :
音声情報を再生または停止します。（音声がある場合のみ）

VICIS 局の選局方法を切り替える

FM VICIS 局の選局方法（自動選局 / 手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

■ 自動選局と手動選局について

- 自動選局 :
現在地の都道府県に合わせて、FM VICIS 局が自動的に選局されます。
広域移動する場合に便利です。
- 手動選局 :
FM VICIS の受信周波数を設定します。設定した周波数以外では VICIS 情報を受信できなくなります。
県境付近を走行中で FM VICIS 局を自動変更されたくない場合などに便利です。

自動選局に設定する

- 1 **[HOME]** を押して **[情報・設定]** をタッチして **[VICIS]** をタッチする
- 2 **[VICIS FM 選局モード]** をタッチする



- 3 **[自動]** をタッチする



[自動] にチェックが付いているときは、自動選局が選択されています。

手動選局に設定する

- 1 【VICS FM 選局モード】 をタッチする



- 2 【自動】 をタッチしてチェックを外す



- 3 ◀ または ▶ をタッチして、受信周波数を設定する



受信する周波数が設定されます。

VICS 情報の表示設定をする

- 1 【HOME】 を押して 【情報・設定】 をタッチして 【ナビ】 をタッチする
- 2 【交通情報】 をタッチして、設定する項目をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
VICS 情報表示	—	VICS 情報の表示内容について設定します。 (→ P.84)
図形情報の割り込み表示	使用しません。	
文字情報の割り込み表示	使用しません。	
ETC2.0 優先情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した優先情報割り込み表示のオン/オフを設定します。
ETC2.0 一般情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した一般情報割り込み表示のオン/オフを設定します。
割り込み表示の時間	5 秒間 / 10 秒間 / 15 秒間 *	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した情報の割り込み表示の時間を設定します。
ETC2.0 アップリンク	ON*/OFF	ETC2.0 アップリンク機能のオン/オフを設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

地図上の VICIS 表示方法を設定する

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

- 1 【交通情報】をタッチして、
【VICIS 情報表示】をタッチする



- 2 表示する項目をタッチする



表示されているリストでは、すべての項目が選択されています。表示しない項目をタッチすると、選択が解除されます。



- 【表示オフ】をタッチするとすべての VICIS 情報が表示されなくなります。

● 表示設定項目

項目	説明
渋滞 / 混雑線の表示: 高速道	高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線の表示: 一般道	一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示: 高速道	高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示: 一般道	一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線 (統計) の表示: 高速道	統計情報による高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線 (統計) の表示: 一般道	統計情報による一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線 (統計) の表示: 高速道	統計情報による高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線 (統計) の表示: 一般道	統計情報による一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
規制情報の表示	交通規制情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
駐車場情報の表示	駐車場情報を地図上に表示するかどうかを設定します。

ECO 情報を確認する

ECO 情報を見る

マイメニュー画面(→ P.21)、現在地図画面、INFO ウィンドウ画面(→ P.31)でエコドライブ情報を見ることができます。

ECO ドライブ評価



ECO ドライブ評価は、少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100点満点で表示されます。eスタート、急加速、急減速および経済速度を判定したときもここに表示されます。

詳細情報を見る

走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、ECO 度判定や総合評価グラフが表示されます。

- 1 **【HOME】を押して【情報・設定】をタッチして【ECO】をタッチする**



現在表示されている情報の1日前/1日後の情報を表示します。

【ECO レシオ】:

燃費度合グラフを表示します。

評価グラフの各項目の内容は次のとおりです。

- ・ **eスタート**:
停車状態からのスタートの評価です。急発進の回数が少ないと、高評価となります。
- ・ **加速**:
加速状態の評価です。急加速の回数が少ないと、高評価となります。

- ・ **減速**:
減速状態の評価です。急減速の回数が少ないと、高評価となります。
- ・ **経済速度**:
一定スピード(経済速度)での走行状態の評価です。経済速度を維持して走行すると、高評価となります。

ECO レシオについて

ECO 情報画面で【ECO レシオ】をタッチすると、燃費度合グラフが表示されます。



グラフ表示を1日分スクロールします。

【ECO 判定モード】:

ECO 度の判定のモード(ソフト/ノーマル/ハード)を設定します。ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。(お買い上げ時は「ノーマル」に設定されています)

【ECO データ消去】:

過去のECO データを消去します。確認のメッセージで[はい]をタッチすると、ECO データが削除されます。



- ・ ECO 情報で表示される内容は、あくまで目安です。

ナビゲーションの設定をする

本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

1 【HOME】を押して[情報・設定]をタッチして[ナビ]をタッチする

2 設定する項目をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

● 地図

項目	設定	説明
地図色 / 文字サイズ	地図色: 1*/2/ ダーク モード 文字サイズ: 小 / 中* / 大 地図色昼夜切替: 昼色に固定 / 夜色に固定 / 自動*	地図色、文字サイズと地図表示の設定をします。(→ P.89)
ランドマーク表示	—	地図に表示するランドマークを設定します。(→ P.90)
登録地点表示	—	地図に表示する登録地点を設定します。表示したい登録地点のカテゴリをタッチします。もう一度タッチすると選択を解除します。[表示オフ]をタッチするとすべて表示しません。
自転車マーク	▲*/■ /●	自転車マークのデザインを設定します。
走行軌跡の表示	ON*/OFF	走行軌跡を表示するかどうかを設定します。(→ P.90)
走行軌跡を消去	—	記憶されている走行軌跡を消去します。(→ P.90)
地図の向き	ノースアップ / ヘディングアップ / 3Dビュー*	地図の向きを設定します。

項目	設定	説明
地図の向き (子画面)	ノースアップ / ヘディングアップ / 3Dビュー*	子画面での地図の向きを設定します。
フライビューマップ表示	ON*/OFF	フライビューマップを表示するかどうかを設定します。
ワンタッチルーペ	ON*/OFF	自転車マークをタッチしたときに、自転車マークの周りの地図を拡大して表示するかどうかを設定します。(→ P.29)
市街地地図の表示縮尺	50m以下 / 100m以下*	市街地地図の表示縮尺を設定します。
盗難多発地点表示	ON/OFF*	盗難多発地点を表示するかどうかを設定します。縮尺が 200m 以下の地図表示のとき、盗難が多発している場所を赤色、橙色、黄色で区分して表示します。
冠水注意地点表示	ON*/OFF	冠水注意地点を表示するかどうかを設定します。 ・縮尺が 200m 以下の地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示します。 ・冠水注意地点表示は一部地域を除く都道府県で表示対応しています。
ゾーン 30 エリア表示	ON*/OFF	30 キロ規制区域を表示するかどうかを設定します。 縮尺が 300m 以下の地図表示のとき、ゾーン 30 エリアを青紫色で表示します。(→ P.28)
マップコード表示	ON/OFF*	スクロール画面にマップコードを表示するかどうかを設定します。(→ P.34)
緯度・経度表示	ON/OFF*	スクロール画面に緯度・経度を表示するかどうかを設定します。(→ P.34)

*：お買い上げ時の設定です。

● 案内

項目	設定	説明
案内中の音量調整	ON/OFF*	「ON」に設定すると音声案内中は音量キーでも案内音声の音量調整ができますようになります。
案内音声の音量	1 ～ 25* ～ 40	案内音声の音量を設定します。
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF	車速に応じて、案内音声の音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音を出力するかどうかを設定します。
ルート案内音声の出力	ON*/OFF	ルート案内時またはVICS情報の案内音声を出力するかどうかを設定します。
合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力	常に OFF: 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON: ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON*: 音声を出力します。	
一時停止の音声案内	常に OFF/ ルート案内時のみ ON/ 常に ON*	一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止の案内をするかどうかを設定します。 (→ P.57)
一時停止の表示	常に OFF/ ルート案内時のみ ON/ 常に ON*	一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止アイコンを表示するかどうかを設定します。 (→ P.27)
ETC 音声の出力※	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 音声を出力するかどうかを設定します。
ETC 料金の表示※	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報を表示するかどうかを設定します。 (→ P.27)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板を表示するかどうかを設定します。 (→ P.27)
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストを表示するかどうかを設定します。 (→ P.55)

項目	設定	説明
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内図を表示するかどうかを設定します。 (→ P.55)
ここです案内表示	ここです案内の表示 (→ P.55) を設定します。 OFF: 表示しません。 一般道のみ ON*: 一般道のみ表示します。 ON: 表示します。	
ここです案内の自動消去	ON*/OFF	「ON」に設定すると案内ポイントの 50m 手前 (高速道路では 300m 手前) で、ここです案内を消去します。 交差点案内図の表示が「ON」に設定されているときは、自動的に交差点案内図の表示に切り替わります。
ETC レーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときに ETC レーン案内を表示するかどうかを設定します。(→ P.56)
逆走注意喚起	ON*/OFF	高速道路 / 有料道路入口を走行しているときと、SA/PA で本機の電源をオフにしてオンにしたときに、画面表示と音声で運転者に逆走注意喚起します。
盗難多発地点音声案内	ON/OFF*	盗難多発地点の音声案内をするかどうかを設定します。 (→ P.58)
AV 画面時の地図割り込み	ON*/OFF	AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。
INFO ウィンドウ時の地図割り込み	ON*/OFF	INFO ウィンドウ表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。
INFO ウィンドウの画面切替	手動 / 10 秒* / 15 秒	INFO ウィンドウの表示切替エリアの情報画面を切り替える時間を設定します。「手動」に設定した場合は画面の右端をタッチすると画面が切り替わります。

*: お買い上げ時の設定です。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

※：別売の本機対応 ETC 車載器または本機対応の ETC2.0 車載器を接続しているときに設定できます。

● 探索

項目	設定	説明
優先する探索条件	推奨*、距離、高速、一般、高速 / 距離	優先する探索条件を設定します。(→ P.51)
マイルートアジャスター	探索の詳細条件を選択し、マイルート 1～3 に設定することができます。(→ P.91)	
スマートIC/ETC 専用入口考慮	ON/OFF*	スマートIC および ETC 専用入口を利用する探索を行うかどうかを設定します。
目的地の横付けを考慮した探索	ON*/OFF	目的地の施設が道路の反対側などに来ないように横付けまで考慮した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*	フェリーを利用した探索を行うかどうかを設定します。

*：お買い上げ時の設定です。



- スマートIC では、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

● 交通情報

項目	説明
VICS 情報表示	この設定については、「VICS 情報の表示設定をする」(→ P.83) をご覧ください。
図形情報の割り込み表示	
文字情報の割り込み表示	
ETC2.0 優先情報の割り込み表示	
ETC2.0 一般情報の割り込み表示	
割り込み表示の時間	
ETC2.0 アップリンク	

● その他

項目	設定	説明
NaviCon 友達マップ		この設定については「NaviCon で探す」(→ P.47) で使用します。
車両ナンバー	軽 / 5・7* / 3 / 1	車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
現在地修正		自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。(→ P.89)

*：お買い上げ時の設定です。

地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

- 1 **【地図】をタッチして、
【地図色 / 文字サイズ】をタッチする**



- 2 **設定したい項目をタッチする**



地図色：

- 1、2、ダークモードから地図色を設定します。

文字サイズ：

- 小、中、大から文字サイズを設定します。

地図色昼夜切替：

- ・**【昼色に固定】：**
常に昼色の地図を画面に表示します(昼画面)。
- ・**【夜色に固定】：**
常に夜色の地図を画面に表示します(夜画面)。

・**【自動】：**
ディマー（自動輝度設定）の設定に連動して地図色を切り替えます。(→ P.98)

ディマー設定が OFF のとき：

常に昼色の地図を画面に表示します(昼画面)。

ディマー設定が ON のとき：

常に夜色の地図を画面に表示します(夜画面)。

ディマー設定がイルミ連動のとき：

車両のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)

ディマー設定が時刻連動のとき：

日の出時刻が近づくと、夜色の地図から徐々に昼色の地図に変わります。日の入り時刻が近づくと、昼色の地図から徐々に夜色の地図に変わります。

自車の現在位置を修正する

地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正します。

- 1 **【その他】をタッチして、
【現在地修正】をタッチする**



地図が表示されます。

- 2 **地図をスクロールして、自車マークを
実際の位置に合わせる（位置を修正）**



- 3 **【向きを修正】をタッチする**

- 4 **☾ または ☾ をタッチして、
自車の向きを設定する（向きを修正）**



- 5 **【決定】をタッチする**



- ・表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。(→ P.29)
- ・手順5で[決定]をタッチする前なら、[位置を修正] または [向きを修正] をタッチして、何でも自車位置や向きを修正しなおすことができます。

走行軌跡表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

- 1 「地図」 をタッチして、
「走行軌跡の表示」 をタッチする



[ON] :
走行軌跡を表示します。

[OFF] :
走行軌跡を表示しません。

走行軌跡を消去する

- 1 「地図」 をタッチして、
「走行軌跡を消去」 をタッチする



- 2 「はい」 をタッチする

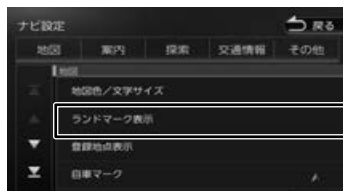


- 走行軌跡は、現在地より過去 1000km の軌跡が保存されています。1000km を超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- 「走行軌跡の表示」を「OFF」に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、ガソリンスタンド / コンビニエンスストア / ファミリーレストラン / ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示します。

- 1 「地図」 をタッチして、
「ランドマーク表示」 をタッチする



- 2 設定するパターンをタッチする



- 3 表示するランドマークのジャンル名
をタッチする



タッチするとチェックマークが付きます。もう一度タッチすると、選択が解除されます。さらにジャンルの分類を選択する場合は、ジャンル名をタッチすると分類が表示されます。設定したい項目をタッチします。



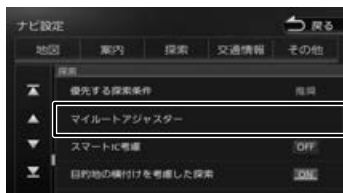
表示させたいパターン（1～3）をタッチすると、地図上に選択したパターンのランドマークが表示されます。



- [表示オフ] をタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。

ルート探索の条件を設定する (マイルートアジャスター)

1 【探索】をタッチして、【マイルートアジャスター】をタッチする



2 探索条件を登録したいマイルート 1～3のいずれかをタッチして (①) 設定したい項目をタッチして (②) 調整する (③)



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
有料優先	低～中* ～高 (5段階)	有料道路を使った探索をするときに有料道路を優先して使うかどうかを設定します。
道幅優先	狭い～ 広い (5段階)	狭い道幅を優先するか広い道幅を優先するかを設定します。お買い上げ時の設定は「狭い」と「広い」の間です。
渋滞回避	0～1* ～3 (4段階)	0：渋滞回避しません。 1：渋滞回避を多少優先します。 2：渋滞回避を優先します。 3：渋滞回避を積極的に優先します。
踏切考慮	低～中* ～高	踏切の少ないルートを優先するかどうかを設定します。
信号考慮	ON*/ OFF	信号の少ないルートを優先するかどうかを設定します。

項目	設定	説明
ルート学習	ON*/ OFF	自宅から半径 3km 以内でナビが案内するルートと違うルートを数回走行していると、実際に走ったルートをナビが学習します。この学習結果をルート探索時に使用するかどうかを設定します。 [学習の初期化] をタッチするとメッセージが表示されます。[はい] をタッチすると学習したルートの初期化が開始されます。

*：お買い上げ時の設定です。

■ 案内開始画面から 【マイルートアジャスター】機能を使う

1 【マイルートアジャスター】をタッチする



2 探索条件を登録したいマイルート 1～3のいずれかをタッチして (①) 設定したい項目をタッチして (②) 調整する (③)



3 【再探索】をタッチする



ルートを再探索します。

サウンドの設定をする

音質、音響効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。



- サウンドの設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ (STANDBY) のときは、サウンドの設定はできません。
- ハンズフリー電話の通話中や発信、着信中は「バランス / フェーダー」以外のサウンドの設定はできません。
- パッセージャースリー機能をオンにしているときは、サウンドの設定はできません。(→ P.68)

1 [HOME] を押して [情報・設定] をタッチして [サウンド] をタッチする

2 設定する項目をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リスニング設定	音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように視聴効果を設定します。(→ P.94)
イコライザー	低音域から高音域までの音質を設定します。(→ P.95)
バランス / フェーダー	◀ または ▶ をタッチして左右のバランスを、▲ または ▼ をタッチして前後のバランスを調整することもできます。 [センターに戻す]: 左右 / 前後ともに中央に戻します。
音質・音場効果	音響効果を設定します。(→ P.97)
スピーカー	スピーカーの構成と車両タイプを設定します。(→ P.93)
ソースレベル	各 AV ソースの音量をそろえます。(→ P.97)

車両タイプを設定する

車両タイプを設定すると、簡易的に車両タイプに合わせた音質にすることができます。

システムの初期化 (→ P.99) を行ったときなどは、下記を参考に設定しなおしてください。

1 [スピーカー] をタッチする



2 [車両タイプ] をタッチする



3 車両タイプを選んでタッチする



スピーカー構成を設定する

実際に設置されているスピーカーの取付位置、スピーカー口径などを設定します。
より車両に適したリスニング設定ができます。

1 「スピーカー」をタッチする



2 「車両タイプ」をタッチする



3 車両タイプを選んでタッチする



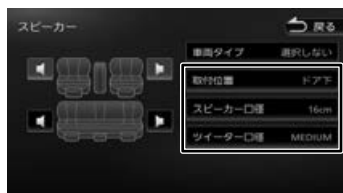
4 設定するスピーカーをタッチする



①：フロントスピーカー

②：リアスピーカー

5 各項目をタッチして設定する



【取付位置】：

スピーカーの位置を設定します。

【スピーカー口径】：

スピーカーの口径を設定します。フロントスピーカーの口径を設定するときは“なし”には設定できません。

【ツイーター口径】：

ツイーターの口径を再生可能な帯域に合わせて設定します。

SMALL：10kHz 以上

MEDIUM：4kHz 以上

LARGE：2.5kHz 以上



- 再生可能な帯域が不明な場合は MEDIUM に設定し、フロントツイーターのレベル調整時にお好みに応じて変更してください。

リスニングを設定する

リスニング設定は音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように視聴効果を設定します。
リスニング設定には2つの設定方法があります。
2つ同時に設定することはできません。

リスニングポジション：

設定した座席に近いスピーカーほど音の出るタイミングを遅らせる（ディレイ）ことで、各スピーカーからの音が同時に聞こえてくるように調整します。

フロントフォーカス：

仮想の音像イメージを設定した座席の正面に定位させる機能です。フロントフォーカスの「前の両座席」と「全ての座席」のそれぞれについては、音像イメージを右側座席正面に定位させたい場合は「右側優先」を、左側に定位させたい場合「左側優先」を選んでください。



- リスニング設定はスピーカー構成の設定（→ P.93）で車両タイプとスピーカー構成の両方が設定されていないと正しく設定できません。
- スピーカー構成の設定でリアスピーカーの「スピーカー口径」を「なし」に設定している場合は、リアスピーカー調整ができません。
- フロントフォーカス調整の「ディレイ」設定の「音像左右（主調整）」の「リアを出力しないで調整」は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を両方「なし」に設定している場合はタッチできません。
- フロントフォーカス調整の「ディレイ」設定の「仮想音場の広さ」は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を「なし」に設定している場合は調整できません。
- フロントフォーカスを調整するときに表示される画面は、「閉じる」をタッチすると画面を閉じることができます。

1 車両タイプを設定してスピーカーを設定する（→ P.93）

2 「リスニング設定」をタッチする



3 リスニングポジションまたはフロントフォーカスの設定したい座席をタッチする



選択した座席に合わせた音場効果が設定されます。設定はさらに微調整することもできます。

リスニングポジションを微調整する

1 「調整」をタッチする



2 「ディレイ」をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして実際に測った距離を設定する



お使いの車で実際に測った距離を設定します。リスニングポジションを「全ての座席」または「前の両座席」に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

3 「レベル」をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして音を聴きながら調整する



フロントフォーカスの微調整をする

1 【調整】をタッチする



2 【ディレイ】をタッチして下記の順で各項目を設定する



【音像左右 (主調整)] をタッチする

「リアを出力しないで調整」にチェックが付いている状態で、◀ または ▶ をタッチして、音像イメージが座席の正面になるように調整します。

次に「リアを出力しないで調整」をタッチしてチェックが消えている状態で、音像イメージが座席の正面になっているか確認してください。音像の位置がずれた場合は、◀ または ▶ をタッチして調整してください。

【仮想音場の広さ】をタッチする

音を聞きながら ◀ または ▶ をタッチしてお好みの広さイメージになるよう調整します。この調整で音像イメージが正面からずれたときは「音像左右 (微調整)」で微調整してください。

3 【レベル】をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして音を聴きながら調整する



設定した値を初期設定に戻す

「初期値に戻す」をタッチするとメッセージが表示されます。

「はい」をタッチするとディレイとレベルで調整した両方の値を初期設定に戻します。

プリセットイコライザーを設定する

ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーをソースごとに設定します。



- FM/AM ラジオ、交通情報ソース画面で「クリアボイス」にチェックを付けているときは、イコライザーの設定はできません。

1 設定したいソースを選ぶ 2 【イコライザー】をタッチする



3 【プリセット選択】をタッチする



4 設定したいプリセットイコライザー (ジャンル) をタッチする



手順1で選択したソースに設定されます。

ユーザーイコライザーを調整する

ユーザー独自のイコライザーカーブを調整し、ソースごとに設定します。ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーを呼び出してイコライザーカーブを調整することもできます。

- 1 設定したいソースを選ぶ
- 2 「イコライザー」をタッチする



- 3 画面を指でなぞる



【フラット】：
すべての周波数帯域をフラットにします。

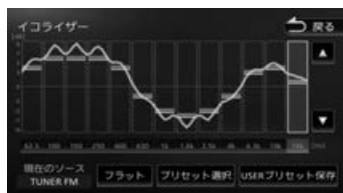


- 調整したい周波数を選んでタッチし、▲ または ▼ をタッチしてレベルを設定することもできます。

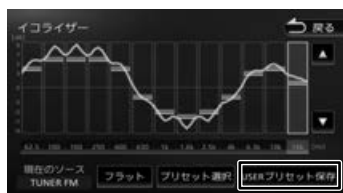
調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自で調整したイコライザーカーブをプリセットイコライザーのUSER1～4に保存できます。

- 1 イコライザーカーブを調整する



- 2 「USER プリセット保存」をタッチする



- 3 保存先をタッチする



音響効果を設定する

各種の音響効果を設定します。

1 「音質・音場効果」をタッチする



2 各項目を調整する



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
ミュージック バスブースト	OFF/1*/2/3	低音楽器の音を増強するレベルを設定します。
ミュージック ラウドネス	OFF*/LOW/HIGH	小音量時でも音楽的な周波数バランスが保たれて聞こえるように、低音と高音を補います。 録音レベルが大きい曲の場合は LOW、小さい曲の場合は HIGH が適しています。
Drive Equalizer +	OFF ~ 7* ~ 9	車速と AV 音量に応じて音質を自動で調整します。
リアライザー	OFF/1*/2/3	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティのある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。
サウンド ライザー	OFF*/LOW/MIDDLE/HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置（高さ）を設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

1 「ソースレベル」をタッチする



2 各ソースの [-] または [+] をタッチして、音量を調整する



・「iPhone」と「SMART USBA」は接続方法別に調整してください。

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

1 【HOME】を押して[情報・設定]をタッチして[システム]をタッチする

2 設定する項目をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

● AV

項目	設定	説明
案内音声出力時のAV音量	そのまま / 下げる * / 消音	音声案内時の AV ソースの音量を設定します。
リバース時のAV音量ダウン	ON*/OFF	バックするときに AV ソースの音量を下げるかどうかを設定します。
スターターボリューム	動作しない* / 更新間隔：速 / 更新間隔：中 / 更新間隔：遅	電源オン時に AV の音量を一定量下げます。電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。
ゴールオートボリューム	ON/OFF*	目的地の残り距離、および自宅近くの距離に応じて音量を自動で上げていきます。(→ P.100)

● 表示

項目	設定	説明
ディマー	OFF / ON / イルミ連動* / 時刻連動	ディマー（自動輝度設定）の連動方法を設定します。 OFF: 昼画面固定になります。 ON: 夜画面固定になります。 イルミ連動：車両のライトスイッチに連動します。 時刻連動：日の入り、日の出時間に連動します。

項目	設定	説明
消灯画面の時計表示	ON*/OFF	画面表示を消しているときに、時計を表示するかどうかを設定します。 画面表示を消しているとき以外の画面（現在地図画面など）では、この設定を [OFF] にしても、時計表示を消すことはできません。

● 車両

項目	設定	説明
オートアンテナ	あり / なし *	オートアンテナを装着している場合に設定します。(→ P.23)
ステアリングリモコン	販売会社で設定するメニューです。	
ステアリングリモコン学習	ステアリングリモコンの動作を設定します。(→ P.122)	
ハンドル	左 / 右 *	パッセンジャースリープ機能で運転席のみ音を出すため、運転席の位置を設定します。(→ P.68)

● 一般

項目	設定	説明
操作音の出力	ON*/OFF	操作音を出力するかしないかを設定します。
ショートカットボタン登録	マイメニューに表示されるショートカットボタンに機能を割り当てます。(→ P.21)	
暗証番号登録	本機の起動のための暗証番号を設定します。(→ P.100)	
暗証番号解除	設定した暗証番号を解除します。(→ P.101)	
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。(→ P.101)	
リフレッシュ通知	ON*/OFF	休憩を促す音声案内をするかどうかを設定します。(→ P.58)
日没ライト案内 / 警告音声案内	ON*/OFF	日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、音声で案内または警告をするかどうかを設定します。(→ P.58)

項目	設定	説明
日没ライト案内 / 警告表示	ON*/OFF	日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告を表示するかどうかを設定します。 (→ P.27)
SD カード初期化	SD カードの初期化を行います。SD カード内のデータは、すべて消去されます。	

● 特別

項目	設定	説明
オープンソースライセンス	ライセンスを表示します。	
ユーザー切替	一部の設定を2ユーザー分保持することができます。(→ P.24)	
設定データの書き出し	設定をSDカードに保存します。(→ P.99)	
設定データの読み込み	書き出した設定データを本機に読み込みます。(→ P.100)	
システムの初期化	ユーザーが登録したデータ(登録地点、検索履歴など)を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。(→ P.99)	

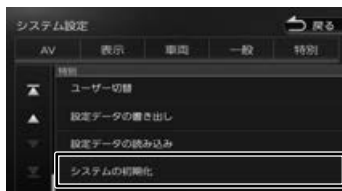
*: お買い上げ時の設定です。

システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。次の項目は、設定を初期化しても削除されません。

- ・ 暗証番号

- 1 【特別】をタッチして、【システムの初期化】をタッチして、【はい】をタッチする



設定をSDカードに保存する

本機の設定をSDカードに保存(書き出し)することができます。

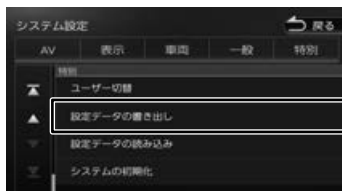
次の項目は、SDカードに保存(書き出し)できない項目です。

- ・ センサーの学習データ
- ・ 暗証番号
- ・ ステアリングリモコン設定(ステアリングリモコン学習内容を含む)
- ・ 車両メンテナンス設定

次の項目は設定データを読み込んだときに初期化される項目です。

- ・ 走行軌跡データ
- ・ ECO データ
- ・ 目的地または経由地の検索履歴
- ・ Bluetooth 機器の登録
- ・ 本機のハンズフリー電話帳 / 着信履歴 / 不在着信履歴 / 発信履歴 / プリセットダイヤル
- ・ ナビのデバイス名(Bluetooth)

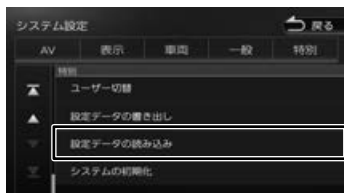
- 1 【特別】をタッチして、【設定データの書き出し】をタッチして、【はい】をタッチする



SDカードに保存されると自動で再起動します。

設定データを本機に読み込む

- 1 【特別】をタッチして、【設定データの読み込み】をタッチして、【はい】をタッチする



読み込みが終了すると自動で再起動します。

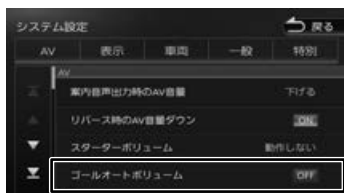
ゴールオートボリュームを設定する

目的地の残り距離、および自宅近くの距離が最大約 700m 手前から音量が「5」になるまで徐々に下げっていきます。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

また、ゴールオートボリュームが働いた後に本機の電源をオフしてオンにすると、音量「5」から 5 秒ごとに音量を「1」ずつ大きくし、ゴールオートボリュームが働く前の音量に戻します。

- 1 【AV】をタッチして、【ゴールオートボリューム】をタッチする

タッチするたびに [OFF]、[ON] が切り替わります。



- ルート案内していないときに自宅周辺を通過する場合もこの機能が働きます。
- ゴールオートボリュームが働いているときに音量を調整すると、この機能は解除され、その時点の音量のままになります。
- ゴールオートボリュームが働いているときは、スターボリュームは動きません。
- ルート案内しないで自宅に帰る場合、自宅周辺 (100m 以内) で本機の電源をオフしてオンすると、自宅に到着したと判断され、ゴールオートボリュームが働く前の音量に戻します。

- ルート案内しないで自宅に帰る場合、残り距離 700m 以内で本機の電源をオフしてオンすると、この機能は解除されます。
- 目的地が自宅以外のルート案内中は、自宅に近づいてもこの機能は動きません。

暗証番号を設定する

盗難防止対策のための暗証番号を設定します。

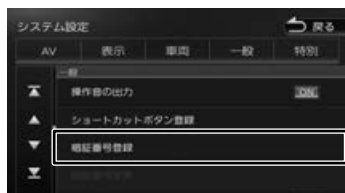
暗証番号を設定すると、本機の取り外し、または車のバッテリー交換を行った場合に、ここで設定した暗証番号の入力が必要になります。正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

- 暗証番号記入欄

--	--	--	--	--	--	--	--

暗証番号を忘れた場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。対応に関する詳細なご案内（製品の送付方法や、お客様の身元確認方法など）をいたします。なお、暗証番号解除に生じる費用は、お客様のご負担になります。

- 1 【一般】をタッチして、【暗証番号登録】をタッチする



- 2 設定する 4 ~ 8 桁の暗証番号を入力し、【決定】をタッチする

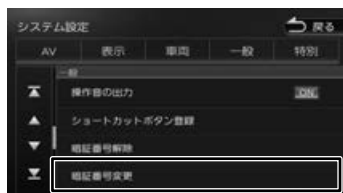


- 3 もう一度、同じ暗証番号を入力し、【決定】をタッチする

暗証番号を変更する

暗証番号を変更します。

- 1 [一般] をタッチして、
[暗証番号変更] をタッチする



- 2 現在設定されている暗証番号を入力し、[決定] をタッチする
- 3 新しく設定する 4～8 桁の暗証番号を入力し、[決定] をタッチする

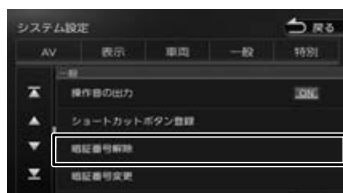


- 4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、
[決定] をタッチする

暗証番号を解除する

暗証番号を解除します。

- 1 [一般] をタッチして、
[暗証番号解除] をタッチする



- 2 現在設定されている暗証番号を入力し、
[決定] をタッチする



現在の暗証番号が解除されます。

外部機器の設定をする

本機に外部機器を接続するときに必要な設定を行います。

- 1 [HOME] を押して [情報・設定] をタッチして [外部機器] をタッチする
- 2 設定する項目をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

● Bluetooth

Bluetooth の設定については 106 ページをご覧ください。

● カメラ

項目	設定	説明
バックアイカメラ接続	なし*/バックアイカメラ/セレクトビューバックアイカメラ	使用するバックアイカメラシステムを設定します。(→ P.117) 通常は販売会社で設定するメニューです。
カメラガイド線調整	—	バックアイカメラ (別売品) を接続しているときは、ガイド線固定となります。

● その他

項目	設定	説明
ETC2.0 接続	ON/OFF*	ETC2.0 を使用するときには設定します。(→ P.120) 通常は販売会社で設定するメニューです。
スマートフォン置き忘れ警告	ON/OFF*	58 ページの「スマートフォン置き忘れ警告音声案内」をご覧ください。

*: お買い上げ時の設定です。



・「ETC2.0 接続」は、次回起動時から有効となります。設定後は、本機の電源をオフにしてオンにしてください。

接続状態を確認する

本機に接続している各種機器の接続状態を確認します。

- 1 [HOME]を押して[情報・設定]をタッチして[接続]をタッチする



接続情報が表示されます。



表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リバース信号	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキングブレーキ	パーキング検出コードの接続状態を表示します。
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
GPS	GPS アンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。

項目	説明
ETC 車載器	ETC 車載器の接続状態を表示します。
ETC2.0 車載器	ETC2.0 車載器の接続状態を表示します。 接続中： ETC2.0 車載器を接続しているときに表示します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。[初期化]をタッチすると、センサーの学習を初期化します。



- ・「センサー学習」の[初期化]は、タイヤを交換したときなどに使用してください。
- ・ ETC2.0 車載器を接続すると、「ETC 車載器」が表示されている位置に「ETC2.0 車載器」の接続情報が表示されます。

■ センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を元に、自転車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。タイヤを交換した後、自転車位置のずれが大ききようであれば、センサー学習のリセットを行ってください。

センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自転車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。



- ・ センサー学習中は、自転車位置がずれる場合があります。
- ・ GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。
- ・ ETC 車載器を接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識できるまで数分かかる場合があります。

バージョンを確認する

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータのバージョンを確認します。

- 1 【HOME】 を押して [情報・設定] をタッチして [バージョン] をタッチする



バージョン情報が表示されます。

地図更新について

本機の地図は更新することができます。
地図更新に関するお問い合わせは JVCケンウッド
カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

電話：0120-977-846

(ディーラーオプション専用窓口)

受付時間 月曜～金曜 9:30 ～ 18:00

(土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませて
いただきます)

開通した道路情報の更新について

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際
に本機の道路情報を更新することができます。

詳細は当社ホームページをご覧ください。

[https://www.kenwood.com/jp/products/oem/
dop/](https://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/) で車両メーカー名を選んでお使いのカーナビ
の型名を選んでご覧ください。

Bluetooth® 機器 の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。



Bluetooth 接続中アイコン



- Bluetooth 機器は 10 台まで登録できます。11 台目を登録しようすると接続頻度の低い機器を削除して登録します。
- Bluetooth の対応プロフィールについては、140 ページをご覧ください。

本機に Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

- 1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする
- 2 Bluetooth 機器側で“KXM-P509W”を選ぶ
- 3 デバイス名とパスキーを確認する



- 4 使用する機能をタッチしてチェックを付けて【はい】をタッチする



【ハンズフリー 1】 / 【ハンズフリー 2】：
ハンズフリーを登録する番号を選びます。

【オーディオ / アプリケーション連携】：
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

【電話帳登録】：
電話帳登録をします。



Bluetooth 機器の登録が始まります。
登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。



- 電話帳の登録はここでチェックを付けてなくても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーは 1 台目の登録の場合は「ハンズフリー 1」にチェックが付いています。「ハンズフリー 1」に登録機器がある場合は、「ハンズフリー 2」にチェックが付いています。
- スズキ緊急通報が作動時は、SOS インジケータが点灯し、Bluetooth 接続された機器を本機から操作ができなくなります。また、スズキ緊急通報が解除されると、本機から再び操作ができるようになります。

オートペアリング機能で登録する

iPhone を本機に USB 接続すると、オートペアリングの機能がはたらき、簡単に iPhone を登録できます。オートペアリング機能は、Bluetooth 設定でオフにすることもできます。(→ P.106)



- iOS のバージョンによっては、手順 3 の画面は表示されずに登録が始まる場合や、オートペアリング機能では登録ができない場合があります。
- 登録ができない場合は 105 ページの登録方法で登録してください。

- 1 iPhone の Bluetooth 設定をオンにする
- 2 iPhone を USB ケーブルで接続する
- 3 デバイス名とパスキーを確認して、使用する機能をタッチしてチェックを付けて [はい] をタッチする



[ハンズフリー 1] / [ハンズフリー 2] :
ハンズフリー登録する番号を選びます。

[オーディオ / アプリケーション連携] :
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

[電話帳登録] :
電話帳登録をします。



Bluetooth 機器の登録が始まります。
登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

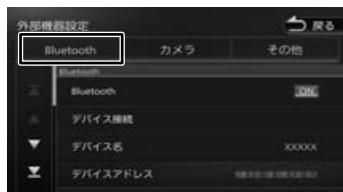


- 電話帳の登録はここでチェックを付けなくても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分 (1 件あたり最大 5 番号まで) の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

- ハンズフリーは 1 台目の登録の場合は「ハンズフリー 1」にチェックが付いています。「ハンズフリー 1」に登録機器がある場合は、「ハンズフリー 2」にチェックが付いています。

Bluetooth の設定をする

- 1 [HOME] を押して [情報・設定] をタッチして [外部機器] をタッチする
- 2 [Bluetooth] をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
Bluetooth	ON*/OFF	Bluetooth 接続するかしないかを設定します。
デバイス接続	本機に Bluetooth 機器を接続します。 (→ P.107)	
デバイス名	現在の本機のデバイス名が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。(→ P.108)	
デバイスアドレス	本機のデバイスアドレスが表示されます。	
オートペアリング	ON*/OFF	オートペアリング機能を設定します。
着信の自動応答	OFF*/1 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 30 秒	着信時に、自動的に通話可能になるまでの時間を設定します。
着信音量	0 ~ 15* ~ 40	着信音量を調整します。
受話音量	0 ~ 15* ~ 40	受話音量を調整します。
通話中の音量調整	ON*/OFF	ハンズフリー通話中の音量を音量キーで調整するかどうかを設定します。
音質調整	通話時の音質を調整します。 (→ P.107)	

* : お買い上げ時の設定です。

■ 通話音質を調整する

1 「音質調整」をタッチする



2 各項目を調整する



【エコーキャンセル】(−5〜0*〜+5) :
エコーキャンセルの値を調整します。

【ノイズリダクション】
(−5〜0*〜+5) :
ノイズリダクションの値を調整します。

【マイクゲイン】(−10〜0*〜+10) :
マイクゲインの値を調整します。

【クリアボイス】 :
通話中にタッチしてチェックを付けると音声
が聞き取りやすくなります。
もう一度タッチしてチェックを外すと元に戻
ります。

【ミュート】 :
通話中にタッチしてチェックを付けると送話
を消音します。
もう一度タッチしてチェックを外すと
消音を解除します。
* : お買い上げ時の設定です。

Bluetooth 機器の使用する機能を変更する

1 「デバイス接続」をタッチする



2 機能を変更したい Bluetooth 機器をタッチする



3 チェックボックスをタッチして使用する機能にチェックを付ける



【ハンズフリー 1】 / 【ハンズフリー 2】 :
ハンズフリー登録する番号を選びます。

【オーディオ / アプリケーション連携】 :
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携ア
プリケーションを Bluetooth 接続で使用し
ます。

■ 機能アイコンについて



ハンズフリー



オーディオ / アプリケーション連携

登録した機器を削除する

本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。

1 【デバイス接続】をタッチする

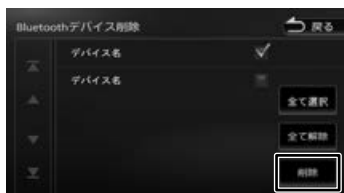


2 【削除】をタッチする



3 削除する Bluetooth 機器を選んでタッチし、【削除】をタッチする

複数選択することもできます。



【全て選択】：

リスト内のすべての機器を選択します。

【全て解除】：

リスト内のすべての機器の選択を解除します。

4 【はい】をタッチする

選択した機器が削除されます。

本機のデバイス名を変更する

本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）するときに選択するデバイス名を変更することができます。

1 Bluetooth 設定画面の【デバイス名】をタッチする

2 デバイス名を入力して【決定】をタッチする



デバイス名が変更されます。



- デバイス名は 20 文字まで入力できます。アルファベット（大文字、小文字）、数字、記号、スペースの文字が使用できます。
- 文字入力については 25 ページをご覧ください。

ハンズフリーを使う

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

電話メニュー画面を表示する

- 1 【HOME】を押して【電話メニュー】をタッチする



電話メニュー画面が表示されます。



電話メニュー画面の見かたと操作



① ハンズフリー 1/ ハンズフリー 2

2台登録している場合は、2台とも待ち受け状態になります。電話をかける場合は1または2をタッチして接続機器を選択してください。

- プリセット、履歴、電話帳などは選択されている機器の内容を表示しています。
- 接続した Bluetooth 機器の電波受信状態、機器のバッテリー残量、デバイス名が表示されます。

② 【接続切替】

Bluetooth デバイス接続画面を表示します。（→ P.107）

③ 【プリセット】

プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。（→ P.110）

【履歴】

PBAP 対応機器の場合は発信、着信、不在着信履歴を表示します。（→ P.111）

【電話帳】

電話帳を表示します。（→ P.112）

【10 キー】

電話番号を入力します。（→ P.113）

④ 【音声認識】

スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけます。

⑤ 【リダイヤル】

前回発信した電話番号に発信します。

⑥ 【編集】

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。（→ P.110）



- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。
- プリセット、履歴、電話帳などは現在接続している機器が対象です。

ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

1 [電話] をタッチする



(通話終了) : 着信を拒否します。



【通話切替】:

接続している機器がキャッチホン機能に対応しているときに表示します。タッチすると通話先を切り替えます。

【音質調整】:

音質を調整します。(→ P.107)

【トーン】:

トーンダイヤルをするための 10 キーが表示されます。

【切替】:

プライベート通話(携帯電話)とハンズフリー通話を切り替えます。

【閉じる】:

表示を消します。

【電話】 をタッチすると再度表示します。



- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、AV の音量とそれぞれ独立して調整できます。
- ハンズフリー電話の受話音声は、フロントスピーカーからのみ出力されます。
- ハンズフリー 1 と 2 に登録している機器がある場合、1 台が発信または着信状態になったときは、もう 1 台の機器との接続が切断されます。通話が終わると切断した機器を再度接続します。

2 通話が終わったら、 をタッチする

プリセットダイヤルを使う

プリセットダイヤルから電話をかける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発信します。

あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。(→ P.110)

1 【HOME】 を押して [電話メニュー] をタッチする

2 発信するダイヤルをタッチする



選択した電話番号に発信されます。

プリセットダイヤルに電話番号を登録する

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

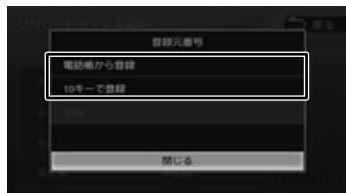
1 【編集】 をタッチする



2 登録するプリセットをタッチする



3 登録方法をタッチし、電話番号を登録する



【電話帳から登録】：

登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。

【10キーで登録】：

電話番号を入力し、[登録] をタッチします。

プリセットダイヤルの登録を削除する

プリセットダイヤルに登録されている電話番号を削除します。

1 【編集】 をタッチする



2 削除するプリセットダイヤルをタッチして【削除】 をタッチする



【全て削除】：

すべてのプリセットダイヤルを削除します。

3 【はい】 をタッチする

選択したプリセットダイヤルが削除されます。

履歴から電話をかける

PBAP 対応機器の場合は不在着信、着信、発信履歴から発信することができます。PBAP に対応していない機器は使用できません。

1 【HOME】 を押して [電話メニュー] をタッチする

2 【履歴】 をタッチする



機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと履歴データの取得が始まります。

3 発信する履歴をタッチして、【はい】 をタッチする



選択した電話番号に発信されます。

電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

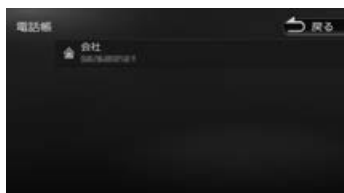
1 【電話帳】 をタッチする



2 発信する相手をタッチする



3 発信する電話番号をタッチして、 【はい】 をタッチする



選択した電話番号に発信されます。



- 電話帳の登録方法については 112 ページをご覧ください。

PBAP 対応機器の電話帳を登録する

最大 1000 件分 (1 件あたり最大 5 番号まで) の PBAP 対応機器の電話番号を本機に登録することができます。



- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

1 【電話帳】 をタッチする



2 【登録】 をタッチする



PBAP 対応機器の場合は電話帳の登録が始まります。機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

電話帳を削除する

1 「電話帳」 をタッチする



2 「削除」 をタッチする



3 削除する登録名をタッチして「削除」をタッチする

複数選択することもできます。



[全て選択]：
リスト内のすべてを選択します。

[全て解除]：
リスト内のすべての選択を解除します。

4 「はい」 をタッチする

選択した登録が削除されます。

ダイヤルして電話をかける

1 「10 キー」 をタッチする



2 電話番号を入力して、 をタッチする



3 「はい」 をタッチする

入力した電話番号に発信されます。

地点情報から電話をかける

地点検索した場所に電話を発信します。

ここまでの手順 ➤ 地点の詳細情報画面を表示する (➡ P.34)

1 をタッチして、「はい」 をタッチする



電話が発信されます。



・ 地点情報に電話番号が表示されていない場合は、発信できません。

リダイヤルで電話をかける

前回発信した電話番号に発信します。

1 【リダイヤル】をタッチする



2 【はい】をタッチする

前回の電話番号に発信されます。

音声認識機能で電話をかける

スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけることができます。

1 【音声認識】をタッチする



スマートフォンの音声認識機能が起動します。

2 電話番号または電話帳の名前を話す



【開始】：
音声を認識できる状態にします。

【終了】：
音声認識機能を終了します。



- 【HOME】を押し続けても音声認識が起動します。
- スマートフォンが音声認識機能に対応していない場合は、使用できません。
- スマートフォンの機種によっては、電話をかける動作ができない場合があります。

Bluetooth オーディオ機器を再生する

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機で再生することができます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを Bluetooth AUDIO に切り替える
(→ P.67)



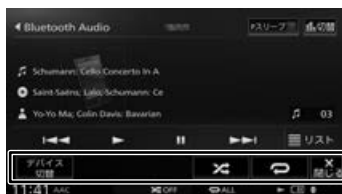
- ① 曲名
- ② 再生経過時間
- ③ 音声形式
- ④ ランダム再生モード
- ⑤ リピート再生モード
- ⑥ 再生残り時間
- ⑦ 再生状態アイコン
- ⑧ バッテリー残量
- ⑨ 曲番号
- ⑩ デバイス名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[P スリープ]	チェックを付けるとパッシブジャースリープ機能がオンになります。(→ P.68)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
	再生します。
	一時停止 (ポーズ) します。
	前または次のファイルを再生します (スキップ)。タッチし続けると、早戻し (バックサーチ) または早送り (フォワードサーチ) します。
[リスト]	再生中のファイルの再生リストを表示します。 ・ [トップ] : 一番上の階層のフォルダに移動します。 ・ [一つ上] : 一つ上の階層のフォルダに移動します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替]	デバイス切替画面が表示され、Bluetooth デバイスを切り替えることができます。
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。



- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法 (スキップ操作やランダム再生モード切替など) を操作できない場合があります。
- バッテリー残量は、実際の Bluetooth 対応機器の表示と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、Bluetooth 対応機器をハンスフリー接続したときに表示されます。
- 他の Bluetooth 機器と通信中は音が途切れる場合があります。
- 音飛びが発生する際には、ご利用の機器の再生品質の設定を変更すると改善される場合があります。
- 再生する音楽アプリを変えたい場合は、使用中の Bluetooth オーディオ機器にて音楽アプリを切り替えてください。

スマートフォン連携について

本機はスマートフォンと連携することで、ドライブ、AV に役立つさまざまな機能を拡張することができます。

NaviCon

iPhone/Android

「NaviCon」と連携すると、「NaviCon」で登録した地点を本機に送信し、目的地に設定したり、本機に地点登録することができます。また、NaviCon の画面で表示している場所の地図を本機に表示することもできます。(→ P.47)

SMART USEN

iPhone/Android

音楽放送のプロが選曲した 1,000 を超えるチャンネルが、いつでも手軽に楽しめる音楽聴き放題スマートフォンアプリケーションです。本機に接続すると本機からチャンネル選択などの操作をすることができます。(→ P.76)

バックアイカメラシステムを使う

本機は、セレクトビューバックアイカメラ（別売品）またはバックアイカメラ（別売品）（以下、バックアイカメラ）を接続することができます。バックアイカメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

バックアイカメラを接続するときは、販売会社で設定が必要です。

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

- バックアイカメラは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

バックアイカメラシステムを設定する

本機に接続したバックアイカメラに応じて、使用するカメラシステムを設定します。

通常は、販売会社で設定されています。システムの初期化（→ P.99）を行ったときなどは、下記を参考に設定しなおしてください。

1 【HOME】を押して【情報・設定】をタッチして【外部機器】をタッチする

2 【カメラ】をタッチして、【バックアイカメラ接続】をタッチする



3 使用するカメラシステムをタッチする



【なし】：
バックアイカメラを接続しません。

【バックアイカメラ】：
バックアイカメラを接続しているときに選択します。

【セレクトビューバックアイカメラ】：
セレクトビューバックアイカメラを接続しているときに選択します。

セレクトビューバックアイカメラを使う

操作については、セレクトビューバックアイカメラ（別売品）の取扱説明書をご覧ください。
また、映像を切り替えるスイッチが、カメラの取扱説明書では、「ビュースイッチ」と記載されています。本機のボタン名と異なりますが操作は同じです。

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする



セレクトビューバックアイカメラの映像が表示されます。



- ・シフトレバーを“R”（リバース）にしても映像が表示されないときは、リバース検出コードの接続を確認してください。
- ・ガイド線は調整できません。セレクトビューバックアイカメラ側でも調整できません。ガイド線は、車種別固定ラインです。

画質を調整する

1 画面をタッチして [映像調整] をタッチする



調整方法については 119 ページの「画質を調整する」をご覧ください。

[非表示]：

操作ボタンを消します。

バックアイカメラを使う

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする



バックアイカメラの映像が表示されます。



- ・シフトレバーを“R”（リバース）にしても映像が表示されないときは、リバース検出コードの接続を確認してください。
- ・シフトレバーを“R”（リバース）にすると、AV ソースの音量が下がります。音量が下がらないように設定も可能です。（→ P.98）

画面の操作

バックアイカメラの映像をタッチすると、操作ボタンが表示されます。



[ガイド線]：

バックアイカメラ（別売品）を接続しているときは、ガイド線が固定表示されます。

[非表示]：

操作ボタンを消します。

[映像調整]：

映像の画質を調整します。（→ P.119）

画質を調整する

- 1 カメラ映像を表示する
- 2 [映像調整] をタッチする



- 3 [-] または [+] をタッチして各項目を調整する



コントラスト：

コントラストを調整します。

- ・[+]：コントラストが強くなります。
- ・[-]：コントラストが弱くなります。

ブライトネス：

明るさを調整します。

- ・[+]：明るくなります。
- ・[-]：暗くなります。

色の濃さ：

色の濃淡を調整します。

- ・[+]：色が濃くなります。
- ・[-]：色が淡くなります。

色合い：

色合いを [+] / [-] で調整します。



- ・[非表示] をタッチすると、操作ボタンを消すことができます。
- ・[戻る] をタッチすると、カメラの操作画面に戻ります。

ETC 車載器 / ETC2.0 車載器を使う

本機は ETC 車載器（別売品）または ETC2.0 車載器（別売品）を接続することができます。



- ・ ETC 車載器と ETC2.0 車載器は本機に同時に接続しないください。
- ・ 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス（情報配信サービス）には対応していません。
- ・ 本機は決済サービスには対応していません。
- ・ ETC 車載器を接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。ETC 車載器が正しく接続されているかは、「接続情報」画面（→ P.102）で確認してください。

ETC 情報について

ETC（Electronic Toll Collection System）は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。



- ・ ETC 機能についての音声案内（料金案内、カード挿入 / 排出、カード有効期限、エラーコード）は、本機から出力されます。
- ・ 有効期限は、期限から 1 か月以内になったときに出力されます。
- ・ 本機の電源をオフしたときに ETC カードを入れたままにしたときの警告は本機からは出力されません。

ETC2.0 情報について

ETC2.0 車載器（別売品）を接続すると、ETC 機能と ITS スポットから送られてくる VICS 情報の提供を受けることができます。



- ・本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス（情報配信サービス）には対応していません。また決済サービスにも対応していません。

ITS スポットとは

高速道路を中心に設置された路側無線装置で、ETC2.0 車載器との 5.8GHz 帯を利用した双方向通信により、前方状況、合流支援、前方障害物情報などをリアルタイムにお知らせする安全運転支援情報を提供します。利用エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

国土交通省 国土技術政策総合研究所
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_ds/src/index.html
 道路管理者からのお知らせとお願い（プローブ情報の利用および取り扱いについて）
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_ds/src/oshirase.html

- ・ITS スポットの案内内容は、変更される場合があります。

ETC 予告アンテナについて

ETC 料金所の手前や SA・PA からの合流後に ETC 予告アンテナが設定されている場所を通過するときに、ETC カードの挿し忘れや挿し込み不良、ETC カードの有効期限切れなどの場合に、音声案内と表示で「ETC がご利用できません」または「ETC カードを確認してください」と通知されます。その場合は「一般」または「ETC／一般」と表示されたレーンをご使用ください。

- ・運転中の ETC カードの挿入操作は危険ですのでおやめください。
- ・ETC カードが入っている場合、予告アンテナ通過時に約 1 秒間ピーと音が鳴ることがありますが故障ではありません。

アップリンクとは

アップリンクとはプローブ情報（走行位置の履歴などの情報）を ITS スポットに送信する機能です。送信したデータはより精度の高い道路交通情報の生成に活用されます。

走行開始、終了地点など、個人情報に関わる情報は送信しません。

アップリンクしないように設定することができます。（→ P.83）アップリンクについては ETC2.0 車載器の取扱説明書もご覧ください。

VICS 機能を利用する

ITS スポットから VICS 情報を受信することにより、次の機能を利用できます。

- ・地図画面上に、VICS 情報が表示されます。（→ P.80）
- ・案内情報を受信すると、割り込み表示されます。音声情報がある場合は、音声案内が出力されます。対応している情報の種類は、次のとおりです。
 - 優先情報
 - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
 - 一般情報
 - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報
- ・規制を考慮したルートが探索されます。（→ P.52）
- ・渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。（→ P.52）

ETC2.0 車載器の接続設定をする

接続している ETC2.0 車載器を設定します。通常は、販売会社で設定されています。システムの初期化（→ P.99）を行ったときなどは、下記を参考に設定しなおしてください。

- 1 【HOME】を押して【情報・設定】をタッチして【外部機器】をタッチする
- 2 【その他】をタッチして、【ETC2.0 接続】をタッチする



【ON】：
ETC2.0 車載器を使用します。

【OFF】：
ETC2.0 車載器を使用しません。

- 3 車両のイグニッションキーをオフにしてから、再度イグニッションキーをオンにして、本機の電源を入れなおす

本機の電源を入れなおすと、設定が反映されます。

ETC に関する設定をする

ETC の案内出力を設定する

- 1 【HOME】 を押して【情報・設定】をタッチして【ナビ】をタッチする
- 2 【案内】をタッチして、【ETC 音声の出力】をタッチする



- 【ON】：
ETC の音声案内をします。
- 【OFF】：
ETC の音声案内をしません。

ETC の料金表示を設定する

- 1 【HOME】 を押して【情報・設定】をタッチして【ナビ】をタッチする
- 2 【案内】をタッチして、【ETC 料金の表示】をタッチする



- 【ON】：
ETC 料金を表示します。
- 【OFF】：
ETC 料金を表示しません。

ETC2.0 に関する設定をする

ETC2.0 に関する設定は 83 ページの「VICS 情報の表示設定をする」をご覧ください。

ETC 履歴 / 車載器情報を見る

本機で使用した ETC の利用履歴や登録情報を確認できます。

- 1 【HOME】 を押して【情報・設定】をタッチして【ETC】をタッチする



- 【車載器情報】：
車載器の情報を表示します。



- ETC の利用履歴は、100 件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETC カードの挿入時のみ表示されます。
- ETC 履歴表示中は ETC カードを抜かないでください。

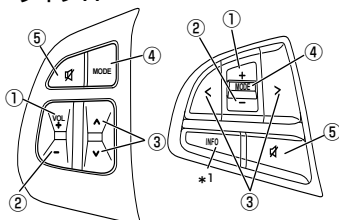
ステアリングリモコンを使う

ステアリングリモコンについて

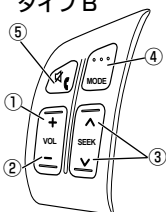
お使いのお車にステアリングリモコンを装着されている場合、ステアリングリモコンから本機を操作することができます。

お買い上げ時のステアリングリモコン設定は以下になります。

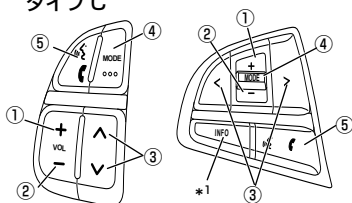
タイプ A



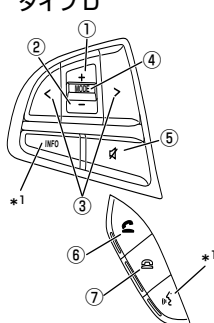
タイプ B



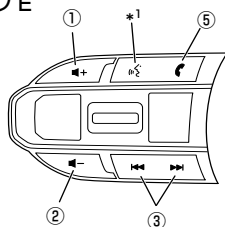
タイプ C



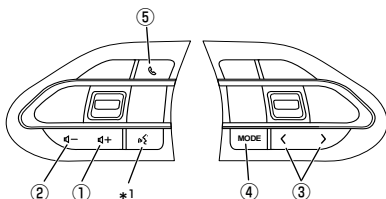
タイプ D



タイプ E



タイプ F



*1:「INFO」キーおよび音声認識機能のキーには対応していません。

ボタン	ソース	説明
①	全ソース	音量が上がります。
②	全ソース	音量が下がります。
③	FM AM 交通情報	- 押すたびに登録されている放送局が順番に切り替わります。交通情報は、1620kHz → 1629kHz と押すたびに切り替わります。 - FM または AM のときに押し続けると「サーチ中…」と表示され、受信状態の良い放送局を受信します。(交通情報は除く)
	SD USB Bluetooth AUDIO	- 押すたびに前のファイルまたは次のファイルを再生します。 - 押し続けると早戻しまたは早送りします。
	SMART USEN	お気に入り登録済みのチャンネルに切り替えます。
	iPhone	- 押すたびに前の曲または次の曲を再生します。 - 押し続けると早戻しまたは早送りします。

ボタン	ソース	説明
④	全ソース	- ソースを切り替えます。 iPhone → USB → SD → FM → AM → Bluetooth AUDIO → SMART USEN → 交通情報 ※機器が接続されていないなど、選択できないソースはスキップされます。 - 押し続けると「STANDBY」になります。
⑤	全ソース	- タイプ A/タイプ D : 押すと音量が小さくなります。もう一度押すと元の音量に戻ります。 - タイプ B : 押すと音量が小さくなります。もう一度押すと元の音量に戻ります。Bluetooth 接続中は、ハンズフリーの電話を受けます。着信時に押し続けると着信を拒否します。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。 - タイプ C : Bluetooth 接続中は、ハンズフリーの電話を受けます。着信時に押し続けると着信を拒否します。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。リモコンキーにある音声認識機能には対応していません。 - タイプ E/タイプ F : Bluetooth 接続中は、ハンズフリーの電話を受けます。着信時に押し続けると着信を拒否します。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。
⑥	全ソース	Bluetooth 接続中でハンズフリー電話の着信時に電話を受けます。
⑦	全ソース	- Bluetooth 接続中でハンズフリー電話の通話中に押すとハンズフリーの電話を切ります。 - Bluetooth 接続中でハンズフリー電話の着信時に押し続けると着信を拒否します。



- ステアリングリモコンの機能は独自に機能を割り当てることもできます。
(→ P.123)

独自に機能を割り当てる

ステアリングリモコンのキーに機能割り当て（ステアリングリモコン学習）を行います。



- すべてのキーに機能を割り当ててください。割り当てを行っていないキーに他のキーで登録した機能が割り当てられることがあります。

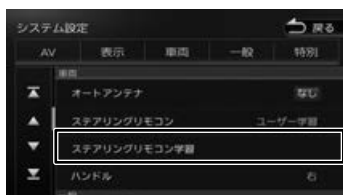
- 1 **【HOME】を押して【情報・設定】をタッチして【システム】をタッチする**
- 2 **【車両】をタッチして、【ステアリングリモコン】をタッチする**



- 3 **【ユーザー学習】をタッチする**

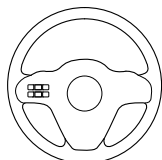
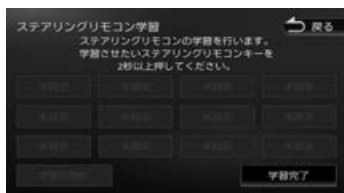


- 4 **【車両】をタッチして、【ステアリングリモコン学習】をタッチする**



ステアリングリモコン学習画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。
ステアリングリモコンは押さないでください。

5 機能を割り当てるステアリングリモコンのキーを2秒以上押す



6 割り当てる機能をタッチする



割り当てた機能が表示されます。

手順5と6をくり返して、すべてのキーに割り当てを行ってください。

7 【学習完了】をタッチする



■ キーに割り当てられる機能

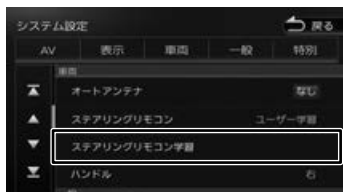
キー	機能
未設定	設定しません。
HOME	ホーム画面を表示します。 押し続けるとスマートフォンの音声認識機能を起動します。(Bluetooth 接続中)
現在地 / AV	現在地地図画面を表示します。現在地地図画面中に押すと AV 画面を表示します。押し続けると、画面の表示をオフにします。
現在地	現在地地図画面を表示します。押し続けると、画面の表示をオフにします。

キー	機能
AV	AV 画面を表示します。
MODE	- 押すごとに AV ソースが切り替わります。 - 押し続けると、AV をオフ (STANDBY) にします。 - AV のオフ中に押し続けると前のソースに戻ります。
	AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
	AV の音量を調整 (0 ~ 40) します。
	ハンズフリー通話中の音量 (0 ~ 40) を調整します。
	- FM/AM : 放送局を切り替えます。押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 - 音楽 : 前 / 次の曲、ファイルを再生します。押し続けると、早送り / 早戻しします。
	
詳細	詳細な地図を表示します。(地図画面表示中)
広域	広域な地図を表示します。(地図画面表示中)
	ハンズフリーの電話を受けます。(Bluetooth 接続中)
	- ハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中) - 着信時に押すと着信拒否します。
	
	- ハンズフリーの電話を受けます。 - 着信時に押し続けると着信を拒否します。 - 通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)
	
	- スマートフォンの音声機能を起動します。(Bluetooth 接続中) - 押し続けるとスマートフォンの音声認識機能を終了します。
	
	- AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。 - ハンズフリーの着信中は通話を開始します。(Bluetooth 接続中)

ステアリングリモコンキーの割り当てを変更 / 初期化する

独自に割り当てたステアリングリモコンキーの変更や消去、初期化ができます。初期化は手順2で[学習初期化] をタッチしてください。

- 1 [車両] をタッチして、
[ステアリングリモコン学習] を
タッチする



- 2 割り当てを変更するボタンをタッチ
する



[学習初期化] :
ステアリングリモコンに割り当てたキー設定を
すべて消去します。

- 3 割り当てる機能をタッチする



[未設定] :
キーに割り当てられた機能を消去します。

- 4 [変更完了] をタッチする



自車位置の測位精度について

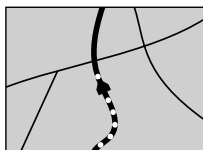
マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチング
していない場合



マップマッチング
している場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしています。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

- 1) 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。
 - トンネルの中やビル内の駐車場
 - 2 層構造の高速道路の下
 - 高層ビルなどの間
 - 密集した樹木の間
- 2) GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができないことがあります。
- 3) 3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

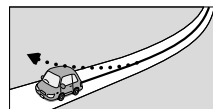
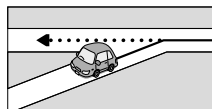
■ GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信している GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

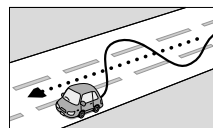
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

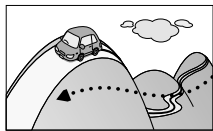
角度の小さい Y 字路を走行した場合 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



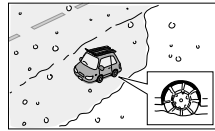
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合 蛇行運転をした場合



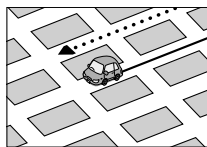
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



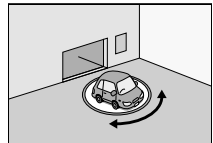
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



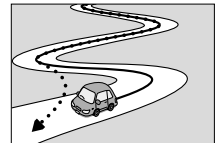
碁盤の目状の道路を走行した場合



駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



ヘアピンカーブが続いた場合

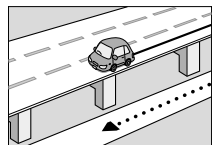


- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

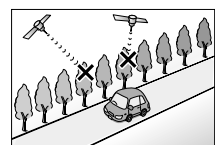
低速時の測位精度について

車種によっては、時速数 km 程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数 km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

高速道路と側道などが隣接している場合



GPS による測位ができない状態が長く続いた場合



地図の道路データについて

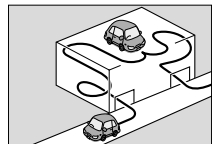
地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星「みちびき」について

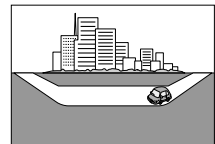
本機は準天頂衛星「みちびき」の受信に対応しています。

従来の GPS 衛星からの信号に加え、「みちびき」からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。

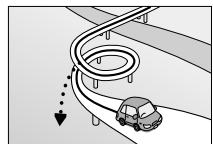
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



地下駐車場やトンネルなど、GPS 衛星による測位が長時間できない場合



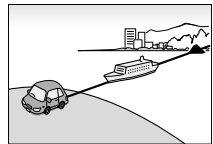
ループ橋などを走行した場合



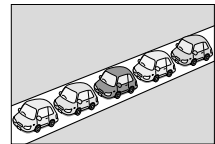
地図データにはない、新設道路を走行した場合



フェリーや車両運搬車で移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		料金所		図書館		裁判所
	都道府県庁舎		マリーナ		テーマパーク		灯台
	市特別区庁舎		史跡名勝		城・天守閣		ホール
	町村指定都市区庁舎		城跡		温泉		スマート IC
	官庁公共施設		神社		山頂		その他の目的物
	警察		寺院		自衛隊		NTT
	消防		教会		墓地		サーキット
	学校		海水浴場		ボウリング場		テニスコート
	郵便局		ゴルフ場		サッカー		ディスカウントストア
	病院		スキー		競馬場ウィンズ		ビルアパート名称
	デパート/スーパー		キャンプ		大学		道の駅
	カー用品店		遊園地		短大		ヘリポート
	IC		動物園		高専		乗馬
	SA		公園		高校		体育館
	PA		ホテル		中学校		牧場
	パーキング		スポーツ施設		小学校		自動車学校
	工場		植物園		養護・盲・ろう学校		トンネル
	飛行場		美術館		保健所		船着場（観光船等）
	フェリー		博物館		税務署		野球場
	港		水族館		発電所		展望台



- ・表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

サービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）などの施設の設備は次のマークで表示されます。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
	IC		PA/JCT（併設）		休憩所
	スマート IC		料金所		ハイウェイ情報ターミナル
	SA		スマート IC		ベビーコーナー
	PA		ガソリンスタンド		ドッグラン
	JCT		レストラン		障害者用トイレ
	IC/JCT（併設）		スナック		ATM
	IC/SA（併設）		ショッピング		トイレ
	IC/PA（併設）		ハイウェイオアシス		
	SA/JCT（併設）		インフォメーション		

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。

地図データベースについて

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会（測量法第44条に基づく成果使用承認）[2023年3月発行データ使用]
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1・No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成しました。
(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- 「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 117-46号」
- 「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 164-46号」

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2023年9月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。

駐車場データについて

- 駐車場データは、2024年4月1日まで対応しています。但し、2023年11月時点の独自調査で取得できた情報までに限ります。
- タイムズデータについては、パーク24(株)提供リストに準拠し、2023年9月時点で取得できた情報までに限ります。

タウンページデータ / 訪問宅(個人宅) 電話番号データについて

- タウンページデータは、NTTタウンページ株式会社が提供する2023年9月号データを収録しています。
- 訪問宅（個人宅）電話番号データは、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax®」2023年9月号データを収録しています。
- 局番変更については、2024年4月1日変更分まで対応しています。但し、2023年11月時点で取得できた情報までに限りです。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

住所データについて

- 住所データについては2023年10月時点の住所マスターデータを使用しています。
- 市区町村合併については、2024年4月1日施行分まで対応しています。但し、2023年10月時点で取得できた情報までに限りです。
- 典拠：「国勢調査結果」（総務省）を加工して作成しています。

郵便番号データについて

- 郵便番号データは、2023年10月時点のデータを使用しています。
- 大口事務所・私書箱については、2023年10月時点のデータを使用しています。

料金データについて

- 高速道路(有料道路を含む)料金表データは、2023年9月調査で2024年4月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車の料金を取得しています。

放送局リストのデータについて

- 放送局リストのデータは2024年2月現在のものです。
- 放送局の開局、廃局、名称変更、周波数(チャンネル)変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

施設情報および個人情報（電話番号）
について

- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。
また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。
なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

■ 注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータはその正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、当社は一切その責任を負いかねます。

©2017（一般財団法人）日本デジタル道路地図協会
©2024 GeoTechnologies, Inc.

はじめに
基本操作
ナビゲーション
オーディオ・ビジュアル
情報・設定
Bluetooth
スマートフォン連携
オプション
付録

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVCケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第2条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含めたとに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社JVCケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVCケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVCケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示または黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守したかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。

掲載場所は [情報・設定] - [システム] - [特別] の [オープンソースライセンス] です。

VICISについて

VICIS サービスの問い合わせ

VICIS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICIS関連商品、VICIS情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関する場合は JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- VICIS の概念、計画、または表示された情報内容に関する場合は VICIS センターへお問い合わせください。（ただし、地図表示の表示内容は除く）

<問い合わせ先>

VICIS センター

電話番号

0570-00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

電話受付時間

9:30 ~ 17:45

（但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）

FAX 受付時間 24 時間

FAX 番号（全国） 03-3562-1719

- VICIS の最新情報について

VICIS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネット URL <http://www.vicis.or.jp/>

VICIS リンクの更新について

VICIS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICIS リンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICIS リンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しい VICIS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICIS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICIS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。



- ・ VICIS リンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新については JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

VICIS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総則

（約款の適用）

- 第 1 条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICIS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICIS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

- 第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICIS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

- 第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使います。

- (1) VICIS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICIS サービス契約
当センターから VICIS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICIS サービス契約を締結した者
- (4) VICIS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

（VICIS サービスの種類）

- 第 4 条 VICIS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICIS サービスの提供時間）

- 第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICIS サービスを提供します。

第 3 章 契約

（契約の単位）

- 第 6 条 当センターは、VICIS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICIS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

- 第 7 条 VICIS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域

で概ね NHK-FM 放送を受信することができ
る範囲内)とします。

ただし、そのサービス提供区域であっても、
電波の状況により VICS サービスを利用す
ることができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 F M 受信機
(VICS デスクランブラーが組み込まれた F
M 受信機)を購入したことにより、契約の
申込み及び承諾がなされたものとみなし、
以後加入者は、継続的にサービスの提供を
受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した
VICS 対応 F M 受信機を購入することによ
り、第 4 条に示す VICS サービスの種類
の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権
利の譲渡又は地位の承継を行うことができ
ます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS
サービス契約を解除したものとみなします。
(1) 加入者が VICS デスクランブラーの使
用を将来にわたって停止したとき
(2) 加入者の所有する VICS デスクランブ
ラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条 1. 当センターは、加入者が第 16 条の規定
に反する行為を行った場合には、VICS
サービス契約を解除することがあります。
また、第 17 条の規定に従って、本放送
の伝送方式の変更等が行われた場合には、
VICS サービス契約は、解除されたもの
と見なされます。
2. 第 11 条又は第 12 条の規定により、
VICS サービス契約が解除された場合で
あっても、当センターは、VICS サービス
の視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サー
ビスの料金として、契約単位ごとに加入時に
別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する
際に負担していただいております。

第 5 章 保守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS
サービスの視聴品質を良好に保持するため、
適切な保守管理に努めます。ただし、加入
者の設備に起因する視聴品質の劣化に関し
てはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工
事上やむを得ないときは、VICS サービス
の利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定により VICS
サービスの利用を中止するときは、あら
かじめそのことを加入者にお知らせしま
す。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この
限りではありません。

第 6 章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サー
ビスの放送を再送信又は再配分すること
はできません。

(免責)

第 17 条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの
視聴障害による放送休止、その他当セン
ターの責めに帰すことのできない事由に
より VICS サービスの視聴が不可能ない
し困難となった場合には一切の責任を負
いません。
また、利用者は、道路形状が変更した
場合等、合理的な事情がある場合には、
VICS サービスが一部表示されない場合
があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、
変更後 3 年間、当該変更に対応してい
ない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な
限度で適切に表示されるよう
に、合理的な努力を傾注するものと
します。
2. VICS サービスは、F M 放送の電波に多
重して提供されていますので、本放送の
伝送方式の変更等が行われた場合には、
加入者が当初に購入された受信機による
VICS サービスの利用ができなくなりま
す。当センターは、やむを得ない事情が
あると認める場合には、3 年以上の期間
を持って、VICS サービスの「お知らせ」
画面等により、加入者に周知のうえ、本
放送の伝送方式の変更を行うことがあ
ります。

[別表]

視聴料金 330 円 (税込み)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

- 本機器で提供している道路交通情報データは、
公益財団法人日本道路交通情報センターから提
供されます。また、データ作成には一般財団法
人交通情報通信システムセンター (VICS セン
ター) の技術が用いられています。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

*1：MMC(MultimediaCard)には対応していません。

*2：この他のファイルシステム (NTFS 等) には対応していません。

- SD スピードクラスは Class 10 まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

- miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用できない場合は、ファイルシステムが FAT16、FAT32、または exFAT であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機は SD-Audio には対応していません。
- すべての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
- SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB 1.1/USB 2.0*1
デバイスクラス	マストレージクラス (MSC device) *2
最大消費電流	3A 以下 (USB ケーブル接続時)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT*3

*1：USB3.0 には対応していません。

*2：使用する USB デバイスが USB マストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。

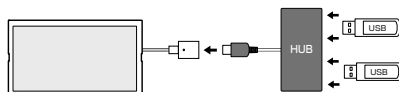
*3：この他のファイルシステムには対応していません。

USB 機器使用上のご注意

- 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。
- すべての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
- USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

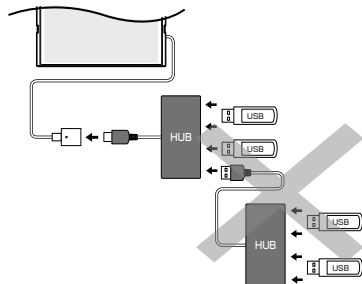
USB ハブの使用について

- 本機では、1 台の USB ハブを接続して、最大 4 つ (パーティション含む) の USB デバイスを接続できます。



ただし、すべての接続機器の動作を保証するものではありません。

- USB ハブは USB ケーブル 1 本につき 2 台以上接続しないでください。



- 消費電流の大きい機器を USB ハブに接続すると動作しない場合があります。この場合は USB ケーブルに直接接続してください。
- USB ハブを使って接続するときは、USB ハブを本機の USB ケーブルに接続してから、USB 機器を USB ハブに接続してください。
- iPhone は USB ハブを介した接続ができません。USB ケーブルに直接接続してください。

本機で再生できるオーディオフォーマット

メディア		USB	SD
コーデック			
オーディオファイル	MP3	○	○
	WMA	○	○
	AAC	○	○
	WAV	○	○
	FLAC	○	○
	Vorbis	○	○

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権所有者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC、HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCM のみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac、.fla	.ogg	.wav
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit/24bit	16bit	16bit/24bit
ビットレート	8k ~ 320kbps、VBR	8k ~ 320kbps	8k ~ 320kbps、VBR	-	-	-
サンプリング周波数	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 192kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 192kHz
タグ	ID3 タグ ver 1.0/1.1/2.2/2.3/2.4 (ID3v2 の非同期化は非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/ Professional/ Lossless/ Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生可能 DRM/ マルチチャンネルは非対応	圧縮レベル: 0 ~ 8 マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応

※ タグの文字数は全角 128 文字まで対応しています。それ以上の文字数では、文字列の後ろ部分が表示されない場合があります。

※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ 本機で表示できるアルバムアートワーク画像は、画像データのサイズが 650KB 以下のファイルです。

(1) ファイル名とフォルダ名

本機で表示できる文字：

半角英数文字、半角カタカナ、全角文字

文字数制限：

ファイル名 全角 80 文字（拡張子は除く）

フォルダ名 全角 80 文字

※ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。

使用できない文字：

¥、\、/、:、*、?、"、<、>、|

ファイルには正しく拡張子を付けてください。

(2) ファイル数とフォルダ数の制限

USB 機器および SD カード：

1 フォルダ内の最大ファイル数：9999

1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999

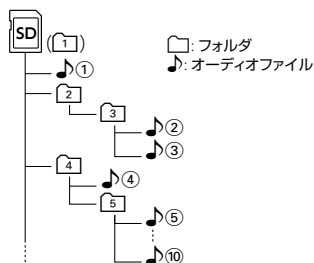
- ・フォルダ階層数は ルートを含めて最大 8 階層となります。ただし、制限内でもフォルダ名 / ファイル名が最大文字数を超える場合は認識できません。
- ・デバイス内の最大フォルダ数 / 最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

(3) 再生する順番について

ファイル名の昇順

ファイル名の頭に“01”～“99”など再生する順番を入力してから SD カードなどに書き込むことで再生する順番を設定することができます。

下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



Bluetooth について

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP（ハンズフリープロファイル）
ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP（フォンブックアクセスプロファイル）
電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP*（高度オーディオ配信プロファイル）
オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
* SCMS-T 対応
(SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。)
- AVRCP（オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル）
オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP（シリアルポートプロファイル）
Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.5.2 準拠



-
- ・ Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。
-

対応コーデック

SBC/AAC

iPhone について

本機でコントロールできる iPhone について

本機からコントロールできる iPhone は以下のとおりです。

Made for

- iPhone 15 Pro Max
 - iPhone 15 Pro
 - iPhone 15 Plus
 - iPhone 15
 - iPhone 14 Pro Max
 - iPhone 14 Pro
 - iPhone 14 Plus
 - iPhone 14
 - iPhone SE (3rd generation)
 - iPhone 13 Pro Max
 - iPhone 13 Pro
 - iPhone 13
 - iPhone 13 mini
 - iPhone 12 Pro Max
 - iPhone 12 Pro
 - iPhone 12
 - iPhone 12 mini
 - iPhone SE (2nd generation)
 - iPhone 11 Pro Max
 - iPhone 11 Pro
 - iPhone 11
 - iPhone XS Max
 - iPhone XS
 - iPhone XR
- 音楽再生のみに対応します。
 - 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。
 - iPhone の機種や、iOS のバージョンによっては一部機能が制限される場合があります。

iPhone 接続ケーブルについて

本機に iPhone をケーブルで接続するときは、Apple 製 USB-C - Lightning ケーブル (Lightning コネクタ搭載 iPhone) または Apple 製 USB-C 充電ケーブル (USB-C コネクタ搭載 iPhone) ケーブルを使用します。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売会社または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	車両のヒューズが切れている。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
	電源コードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままで使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。(→ P.119)
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト (→ P.119)、画面の明るさ (→ P.23)、視野角 (→ P.19) を調整してください。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。(→ P.119)
バックアイカメラに切り替わらない。	バックアイカメラが正しく接続されていない。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
	バックアイカメラの設定が“なし”になっている。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(→ P.92)
音質が悪い (音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
	スピーカーの配線が間違っている。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
案内音声が出力されない。 ハンズフリーの音声が出力されない。	フロントスピーカーが接続されていない。	お買い上げの販売会社にご相談ください。

● ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは500m以下のスケールです。

症状	考えられる原因	対処方法
地点登録できない。	すでに 300 か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください。 (→ P.66)
経由地を設定できない。	すでに 5 か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。 (→ P.61)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の 50 か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、50 か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	ルートの距離が長い。	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自転車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y 字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	GPS アンテナの設置場所が悪い。	GPS アンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
	本機がしっかりと固定されていない。	お買い上げの販売会社で、本機をしっかりと取り付けなおしてください。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください。 (→ P.102) 初期化してしばらくは自転車位置がずれることがあります。しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自転車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
VICS の地図表示情報 (レベル 3) が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICS の地図表示情報 (レベル 3) を表示できるのは、10m ~ 1km (一般道は 10m ~ 500m、一般道の駐車場情報は 10m ~ 200m) のスケールです。
	—	VICS の受信状態が悪い場合は、表示できません。 オートアンテナをしまっている場合は伸ばしてください。
	VICS 局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。 (→ P.82)
VICS 情報が割り込み表示されない。	割り込み表示が「OFF」に設定されている。	ナビ設定画面で、割り込み表示を「ON」に設定してください。(→ P.83)

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

症状	考えられる原因	対処方法
マイルルートアジャスターの渋滞回避を設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。	マイルルートアジャスターの渋滞回避は、渋滞道路を必ず回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	現在提供されている VICS 情報が少なく、別のルートが探索できない。	—
夜の地図色が表示されない。	地図昼夜切替が「昼色に固定」に設定されている。	「自動」に設定してください。 (→ P.89)
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
音声案内されない。	ルート案内の音声出力が「OFF」に設定されている。	ルート案内の音声出力を「ON」に設定してください。(→ P.87)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	【現在地 / AV】を押して現在地図画面に切り替えてください。(→ P.27)
	画面がオフになっている。	【現在地 / AV】を押すか、画面をタッチしてください。(→ P.23)
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
自車マークが動かない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいます。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声小さい。	—	案内音声の音量を大きくしてください。 (→ P.87)
ルートメニューが表示できません。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に 표시됩니다。
センサー学習が完了しない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売会社で、車速検出コードを正しく接続してください。
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

● AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	接続が間違っている。	お買い上げの販売会社で、接続を確認してください。
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。

● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。(→ P.138)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。(→ P.138)

● iPhone

症状	考えられる原因	対処方法
iPhone が認識されない。	iPhone 接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPhone が正しく動作していない。	iPhone 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも iPhone が認識されない場合は、iPhone をリセットしてください。
iPhone をコントロールできない。	iPhone にヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPhone を本機から取り外し、iPhone からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPhone が異常状態になっている。	• iPhone メニューに表示されるリセットではなく、iPhone 本体のリセットを行ってください。 • iPhone を本機から取り外し、iPhone の電源を入れなおしてください。
iPhone の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	しっかりと接続してください。
音がひずむ。	iPhone の EQ 機能(イコライザー機能)がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPhone の再生を停止することをお勧めします。
iPhone の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
	USB ハブを介して接続している。	充電するときは USB ハブを使用せずに直接接続してください。

● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 延長ケーブルが長い場合、データの品質が悪くなっている。	USB 延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
	USB 接続ケーブル 1 本に対して USB ハブを 2 台以上接続している。	USB 接続ケーブル 1 本に対して USB ハブを 2 台以上接続して USB 機器を接続すると、本機で再生することができません。USB ハブを 1 台にして接続しなおしてください。
	複数の USB 機器を接続していて違うデバイスが選択されている。	USB デバイス切替で再生したいデバイスに切り替えてください。(→ P.72)

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器や SD カード内のオーディオファイルが再生できない。	オーディオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。(→ P.138)
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、'、<、>、 ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名: 全角 80 文字 ファイル名: 全角 80 文字 (拡張子は除く) 全角 80 文字以内に變更してください。

● Bluetooth オーディオ / ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機と Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎる。	Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他の Bluetooth 機器が通信を妨げている。	他の Bluetooth 機器の電源をオフにしてください。または、他の Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	他の Bluetooth 機器と通信中、または、他のプロファイルで通信中。たとえば、電話帳のデータ受信中などは音が途切れる場合がある。	ご利用の Bluetooth 機器の再生品質の設定を変更すると改善される場合があります。
ハンズフリー通話の受話が小さい。	音量調整が小さくなっている。	通話中に調整してください。
スマートフォンの Bluetooth 設定をオフにしてオンにすると本機と接続できない。	スマートフォンの Bluetooth 設定をオフにした場合、再度オンにしても本機からは認識できない。	スマートフォンの Bluetooth 接続機器から本機を選び直してください。
Bluetooth 機器が接続できない。	ソフトウェアアップデート等により接続機器の登録情報が更新された。	Bluetooth 機器の登録をいったん削除して、再度登録し直してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
暗証番号が違います。もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。(→ P.100)
スピーカー配線に異常があります。接続を確認してください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。

メッセージ	対処
異常を検出したため、音声出力を停止しました。 電源を入れなおしても問題が解消されない場合は カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
GPS アンテナに異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
車速/パルスが検出できません。 車速検出コード(桃)の接続先及び接続状態を確認してください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
ステアリングリモコンキーの学習ができませんでした。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SDカードが正しく入っているかを確認してください。他のSDカードを使用しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動し、再度操作してください。
アプリケーションと通信できませんでした。スマートフォンを確認してください。	アプリケーションの起動を確認してください。 スマートフォンとの接続が正常か確認してください。
現在の音量以上の音で聞き続けると聴力に影響を与える可能性があります。	「閉じる」をタッチした後、適切な音量に調整してください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	- ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 - 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETC に異常が発生しました。 販売会社にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売会社にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
ETC カードが挿入されていません。 ETC カードが挿入されていません。(01)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETC カードが読めません。 ETC カードが読めません。(02)、(03)、(05)	- 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 - カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 - カードの金属端子面をきれいに拭いてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売会社にご相談ください。
ETC がセットアップされていません。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
ETC をご利用できません。 ETC をご利用できません。(06)、(07)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

メッセージ	対処
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

● ETC2.0

メッセージ	対処
ETC2.0 接続エラー	お買い上げの販売会社にご相談ください。

● カメラ

メッセージ	対処
走行中は調整できません。	バックアイカメラのガイド線調整は、安全なところに停車した状態で行ってください。

● AV（共通）

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオファイルかどうかを確認してください。（→ P.138）
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。
アルバム情報はありません。	アルバム情報が登録されていない楽曲については、楽曲タイトル情報を取得できません。

● SMART USEN

メッセージ	対処
スマートフォンアプリケーションからエラーが通知されました。 スマートフォンを確認してください。	本機との接続を解除し、スマートフォン単体で「SMART USEN」アプリケーションがご利用できることを確認してください。
スマートフォンアプリケーションと通信できませんでした。	・「SMART USEN」アプリケーションの起動を確認してください。 ・スマートフォンとの接続が正常かを確認してください。 ・Bluetooth 接続でご利用の場合は、[デバイス切替] から、ご利用の機器に [オーディオ / アプリケーション連携] を設定してください。
連続再生が 3 時間を超えたため停止しました。	過度のバッテリー消耗、通信容量増加を防止するため、3 時間以上の連続再生を制限しています。（アプリケーションの仕様） 再生ボタンをタッチするか、チャンネル選択をすることで引き続き再生できます。

主な仕様

● ナビゲーション部

測位衛星システム	GPS、QZSS(準天頂衛星)、SBAS
測位衛星システム	L1
受信周波数帯	
内蔵センサー	2D センサー (ジャイロ 1 軸)
VICS	FM 多重 (内蔵)、VICS-WIDE 対応 /ITS スポット対応 (別売)

● モニター部

画面サイズ	7V 型ワイド VGA
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源(照明方式)	LEDバックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W×4
スピーカーインピーダンス	4～8Ω
バックアイカメラ専用映像入力	端子：専用 8Pin コネクタ× 1 (RCA に変換) 映像入力レベル：1Vp-p/75Ω

● チューナー部

FM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz～99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz～1629kHz (9kHz)

● USB I/F 部

USB (Type-C)	USB2.0 High Speed
最大供給電流	DC5V ≡ 3A
急速充電	USB BC1.2
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● 対応メディア

USB/ SD 音声	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
------------	----------------------------------

● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	14.4V (10.5V～16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10～+60℃
本体	外形寸法 (幅×高さ×奥行) : 206mm×104mm×174mm
	埋込寸法 (幅×高さ×奥行) : 178mm×100mm×160mm
	質量 (重さ) : 1.8kg
GPS アンテナ	外形寸法 : 36mm×12.8mm×33mm
	ケーブル長 : 3.5m
	質量 (重さ) : 85g

● Bluetooth 部

対応プロファイル	HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・ビデオ

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン連携

オプション

付録

特許権 / 著作権 / 商標など

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社 JVCケンウッドは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, iPhone, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K..

IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。

MapFan はジオテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

VICS および VICS WIDE は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

「マップコード」および「MAPCODE」は (株) デンソーの登録商標です。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はジオテクノロジーズ株式会社の登録商標です。

USB Type-C および USB-C は USB Implementers Forum の商標です。

Android、Google Play は Google LLC の商標です。

本製品には、株式会社ユビキタス AI コーポレーションの高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタス AI コーポレーションの商標です。

Copyright© 2024 Ubiquitous AI Corporation. All rights reserved.



Ubiquitous AI Corporation

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立ソリューションズ・テクノロジーの登録商標です。

Ruby Talk®



「ETC」、「ETC2.0」は一般社団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

ITS スポットは国土交通省の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）の compact Wnn を使用しています。

compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2017 All Rights Reserved.

libFLAC

Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson

Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン
連携

オプション

付録

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2015 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

B

Bluetooth オーディオ機器の再生 114

E

ECO 情報 85

ETC 車載器 119

G

GPS 102

I

iPhone を再生する 68

N

NaviCon(スマートフォンアプリ) 116

U

USB 機器 /SD カードのファイル再生 70

V

VICS 情報 79

あ

案内音声の音量 87

い

一時停止案内 27, 57

え

エラーメッセージ 146

お

オートアンテナ 10, 98

オートリルート 63

か

画質の調整 119

画面の操作 19

き

逆走注意喚起 58

け

経由地 60

経由地の削除 61

経由地の順番変更 60

現在位置の修正 89

現在地図画面 27

検索履歴の削除 46

こ

交差点案内図の表示 55

高速道分岐イラストの表示 55

高速道路でのルート案内 54

交通情報 75

コンパスボタン 27

さ

サウンド設定 92

し

自車マーク(地図) 28

システム設定 98

自宅に帰る 40

自宅の登録 39

シミュレーション 62

視野角 19

ジャンル検索 44

住所検索 45

す

ステアリングリモコン 98, 122

スピーカー構成 93

スマートフォン連携 116

そ

走行軌跡の表示 27, 86

操作音の出力 98

ソース切替画面 67

ソースレベル 97

ゾーン 30 エリア 86

ち

地図記号 128

地図の傾き角度 30

地図の縮尺 29

はじめに

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

Bluetooth

スマートフォン
連携

オプション

付録

て

デモ走行	62
電源オン / オフ	18
電話帳	112
電話の着信	110
電話番号検索	46
電話をかける	110, 111, 112, 113

と

到着予想時刻 / 距離	53
登録機器の削除 (Bluetooth)	108
登録地点の編集	65
時計	27

な

ナビ設定	86
------------	----

に

日没ライト案内と警告	27, 58
------------------	--------

の

ノースアップ	30
--------------	----

は

パーキング検出コード	102
バージョン情報	103
ハイウェイモード画面	54
パッセンジャースリープ	68
ハンズフリー通話	109

ふ

フェリーを利用した探索	88
フライビューマップ表示	86
フロントパネルの角度調整	18

ほ

方面看板	27, 87
ボタンの操作音	98

ま

マイルルートアジャスター	91
マップクリップ	35

め

メッセージ	146
-------------	-----

も

目的地	50
目的地の削除	61
目的地付近の地図表示	63
文字の入力	25

ゆ

ユーザーイコライザー	96
------------------	----

ら

ランドマーク情報の表示	28
-------------------	----

り

リスニングポジション	94
リバース検出コード	102
履歴検索	41, 46

る

ルート案内の開始	50
ルート案内の終了	63
ルート全体	62
ルート探索方法の設定	51
ルートの再探索	59

れ

レーン情報	27
-------------	----

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売会社」等の記入をお確かめの上販売会社から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より3年または、その期間内でも走行距離 60,000km までです。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについてはお買い上げの販売会社または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

＜問い合わせ先＞

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-977-846（ディーラーオプション専用窓口）
FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」（⇒ P.142）を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売会社または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。
あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売会社または JVCケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売会社または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様の要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理のために、お買い上げの販売会社または JVCケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニットなどがある場合は、ディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 車両からの取り外し / 取り付けについて

修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売会社または JVCケンウッドサービスセンターにお持ちください。
なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。）

技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。



株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12